

# ADDZEST

CD/MD/AV/TEL-LINK コントロール、  
DSP/EQ 内蔵 AM/FM チューナー付  
MD デッキアンブ

## MRX960Z

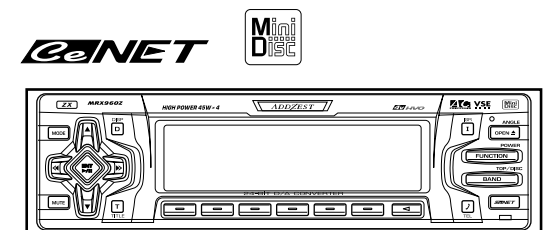
取扱説明書

### クラリオン株式会社

本 社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2  
TEL. 0120-112-140 (フリーダイヤル)  
お問い合わせは、お客様相談室へ

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客様へ…… ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書(別添)はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

この取扱説明書には、本機で操作するCDチェンジャー、MDチェンジャー、テレビの操作説明も含まれています。CDチェンジャー、MDチェンジャー、テレビの取扱説明書には、操作説明は記載されていません。

# 目次

## はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたいご注意を説明しています。

主な特長 .....	5
ご使用の前に .....	6
安全に正しくお使いいただくために .....	6
安全上のご注意 .....	7
取扱上のご注意 .....	10
本体のお手入れについて .....	10
ディスプレイについて .....	10
液晶画面について .....	10
エラー表示について .....	10
スロープコンソールについて .....	10
MDについて .....	11
CDまたはMDの演奏について .....	11
CDについて .....	11

## 本機の操作

本機にスピーカーを接続するだけでお楽しみいただける機能を説明しています。

### 各部の名称とはたらき

本体部 .....	12
システムチェック時のディスプレイ表示 .....	14
電源ON/OFF時のディスプレイ表示 .....	15
各種設定/調整時のディスプレイ表示 .....	16
モード別ディスプレイ表示 .....	21
別販リモコン( RCB-130)の使いかた .....	26

### 基本の操作

電源を入れる .....	28
モードを選ぶ .....	28
スロープコンソールの角度を調整する .....	29
ディスプレイ表示を切り換える .....	29
時刻を合わせる .....	30
音量を調節する .....	31
ダイレクトボタンの機能を切り換える .....	31
音を消す( ミュート ) .....	31
リスニングポジションを調整する .....	31
バランス/フェダーを調整する .....	32
タイトル表示を切り換える .....	33
タイトルをスクロールさせる .....	33
スベアナパターンを切り換える .....	34
I-BGVを切り換える .....	35

### ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ .....	36
受信バンドを切り換える .....	36
自動選局する( シーク選局 ) .....	36
手動選局する( マニュアル選局 ) .....	37
プリセット選局する .....	37
プリセットメモリーする .....	37
自動メモリーする( オートストア機能 ) .....	38
放送を確かめる( プリセットスキャン ) .....	39
特定の放送局をすぐに選局する( ISR機能 ) .....	39

## MD(CD)を聴く

MDを入れる .....	40
MDを取り出す .....	40
すでに入っているMDを聴く .....	41
曲を選ぶ .....	41
演奏を止める(一時停止) .....	41
早送り/早戻しする .....	41
最初の曲から聴く(トップ機能) .....	41
聴きたい曲を探す(スキャン演奏) .....	42
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏) .....	42
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏) .....	42

## ACプロセッサーを操作する

ACプロセッサーにできること .....	43
スタンダードモードとプロモードを切り換える .....	44
DSFの操作(スタンダードモード) .....	45
DSFメニューを選ぶ .....	45
DSF効果をON/OFFする .....	45
DSFを調整する .....	46
G.EQの操作(スタンダードモード) .....	47
G.EQメニューを選ぶ .....	47
G.EQ効果をON/OFFする .....	47
G.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー) .....	48
VSEの操作(プロモード) .....	49
VSEメニューを選ぶ .....	49
VSE効果をON/OFFする .....	49
VSEを調整/メモリーする(ユーザーメモリー) .....	50
P.EQの操作(プロモード) .....	51
P.EQメニューを選ぶ .....	51
P.EQ効果をON/OFFする .....	52
P.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー) .....	52
VSE/EQメニューにタイトルをつける .....	54

## タイトルをつける

タイトルを入力する .....	55
イーजीインプットをする .....	56
タイトルを削除する .....	57
タイトルリストから演奏する(タイトルリスト演奏) .....	57

## 設定を変更する(アジャストモード)

設定項目を選ぶ .....	58
スペクトラムアナライザーの感度を設定する(ANA SENS) .....	59
ボタン操作時のピープ音を設定する(BEEP) .....	59
背景スペアナ表示を設定する(BG SPE/ANA) .....	60
ディスプレイ背景色(パターン)を設定する(BG COLOR) .....	60
タイトルスクロール方法を設定する(SCROLL) .....	62
ボタンイルミネーションを設定する(ILLUMI) .....	62
エクストラアウト出力を設定する(EXTRA OUT) .....	63
エクストラアウト出力の音量を調整する(EXTRA VOL) .....	63
チューナーエリアを設定する(TUNER AREA) .....	64
FMダイバーシティーを設定する(FM DIVER) .....	65
TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER) .....	65

TVエリアを設定する( TV AREA )	66
ディマーレベルを調整する	67
コントラストを調整する	67
電話の割り込みを設定する( TEL-SP )	68
メッセージを表示させる( MESSAGE )	68

## 外部機器の操作

本機とスピーカーの他に、別販品のCDチェンジャー、MDチェンジャーやTVチューナーを接続したときにお楽しみいただける機能を説明しています。

## CD/MDチェンジャーの操作

チェンジャーモードを選ぶ	69
聴きたいCD(またはMD)を選ぶ	70
曲を選ぶ	70
早送り/早戻しをする	71
演奏を止める(一時停止)	71
最初の曲から聴く(トップ機能)	71
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	72
聴きたいCD(またはMD)を探す(ディスクスキャン演奏)	72
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	72
1枚のCD(またはMD)を繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)	73
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	73
全CD(またはMD)の演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)	73

## テレビを見る

TVモードを選ぶ	74
受信バンドを切り換える	74
自動選局する(シーク選局)	75
手動選局する(マニュアル選局)	75
プリセット選局する	75
プリセットメモリーする	75
自動メモリーする(オートストア機能)	76
放送を確かめる(プリセットスキャン)	77
ステレオ/モノラル音声を切り換える	77
メイン/サブ音声を切り換える	77
ビデオを見る	77

## 携帯電話機を操作する

電話をかける(スーパースピードダイヤル)	78
着信電話を保留する	79
通話音量を調整する	79

## 携帯用オーディオを聴く(アクセサリモード)

アクセサリモードにする	80
AUX入力ユニット接続のしかた	80

## その他

システムアップについて	81
CeNETケーブルについて	82
故障と思われる前に	83
エラー表示について	84
仕様	85
アフターサービスについて	86

## 主な特長

本機は、AM/FMラジオとMDデッキを内蔵し、別販のCDチェンジャー、MDチェンジャーまたはTVチューナーを接続してコントロールできるCeNET結線対応の1DINセンターユニットです。

## フロントパネル

- 大型ディスプレイを可能としたスロープコンソール機構
- 表示部を見やすい角度に調整できるスロープ角度調整機能

## 表示部

- 車内を多彩なカラーで演出する、F-STN方式カラーLCDを採用
- ディスプレイをグラフィカルに演出する、7種類のパターンを表示するスペクトラムアナライザーと3種類のI-BGV(インタラクティブ・バックグラウンド・ビュー)機能

## ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、どのモードからでもワンタッチで選局するISR機能
- FMダイバーシティチューナー搭載
- FM、AM各12局のプリセットが簡単なオートストア機能
- メモリー局を順に受信するプリセットスキャン機能
- チューナーエリアを選択するだけで、受信可能な周波数に対して自動的に放送局名を表示することができるエリアセレクト機能

## MDプレーヤー部

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能。
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能

## CD/MDチェンジャーコントロール部(別販品接続時)

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 演奏中のディスクを繰り返し演奏するディスクリピート機能
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 全ディスクの1曲目の最初の10秒間ずつを演奏するディスクスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- 収納しているディスクの曲を順不同に演奏するディスクランダム機能

## TVチューナーコントロール部(別販品接続時)

- プリセットが簡単なオートストア機能で、TV1:6局、TV2:6局、合計12局をメモリー(エリアセレクト有)
- メモリーした放送局を7秒間ずつ受信するプリセットスキャン機能

## タイトル入力機能

- ラジオやTVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル機能
- MDのディスク名または曲名を表示させるタイトル機能

## TEL-LINKユニットコントロール(別販品接続時)

- 携帯電話のハンズフリー通話を実現します。
- 携帯電話機のダイヤルメモリーを呼出して電話をかけるスーパースピードダイヤル機能

## ACプロセッサ部

- 5種類のベーシック音場メニューを選ぶデジタル・サ운드・フィールド(DSF)、および6種類のベーシックパターンと6種類のユーザーパターン、各種の設定で自由に音質をコントロールできるグラフィックイコライザー、パーチャル・スペース・エンハンサー(VSE)、パラメトリックイコライザー
- きめ細かく調整できる5つのリスニングポジション機能

## CeNET(Clarion Entertainment Network:シーイーネット)結線対応

- 外部機器との結線に新開発 CeNET方式を採用。これにより、複数の外部機器接続時の中継BOXが不要になりました。
- CDデッキをセンターユニット(本機)から操作できるデッキコントロール機能
- CDチェンジャーおよびMDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能

# ご使用の前に

## 安全に正しくお使いいただくために

### 絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

### ⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### ⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中などには具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中などには具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとはいつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

## 安全上のご注意

### 使用上のご注意

### ⚠ 警告

走行中は運転者による操作をしない・・・

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



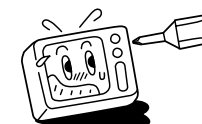
走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない・・・

運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。



本機を分解したり、改造しない・・・

事故や火災、感電の原因となります。



ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない・・・

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談してください。



万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する・・・

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



## ■ ご使用の前に

### ⚠ 警告

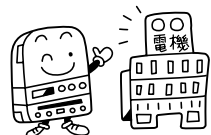
ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



本機の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口へ依頼する…

専門技術と経験が必要です。



### ⚠ 注意

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となる場合があります。



ディスク挿入口に手や指を入れない…

ケガの原因となることがあります。



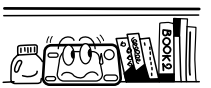
スロープコンソールの開閉時に、機構部に手や指を近づけない…

ケガの原因となることがあります。



ディスク挿入口に異物を入れない…

火災や感電の原因となることがあります。



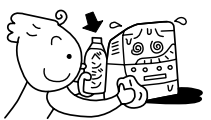
本機を車載用以外には使用しない…

感電やケガの原因となることがあります。



アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない…

歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。



樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない…

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。



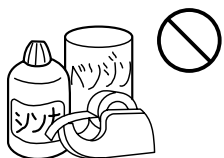
電源を切るときは、音量を最小にする…

電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

# 取扱上のご注意

## 本体のお手入れについて

本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



### ⚠ 注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどを使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

## ディスプレイについて

本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

## 液晶画面について

非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。

常温に戻れば回復します。

液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。

常温に戻れば回復します。

## エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(84ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

## スロープコンソールについて

本機を長時間使用しないときや、車側のエンジンキーをOFFにする場合は、安全のためスロープコンソールを閉じた状態にしてください。(角度切換機能による傾いた状態で車側のエンジンキーをOFFにした場合、スロープコンソールは閉じません)

スロープコンソールが完全に閉じる前に、ブレーキ音が出ることがありますが、安全機構上の動作音のため、故障ではありません。スロープコンソールの開閉時に無理な操作や異常な使用をしないでください。

車側のアクセサリ電源が切れた状態でスロープコンソールを手で動かすと、ガタつきがおこることがあります。元の状態へ戻すには、車側のアクセサリ電源を入れてから、スロープ角度切換ボタンを押して、スロープコンソールを閉じてください。


操作ボタンや表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。スロープコンソールは、ディスクをイジェクトした後、警報音を鳴らしてから、自動的に角度切換機能による傾いた状態または閉じた状態に戻ります。

スロープコンソールが閉じるときに指や異物などの障害がある場合は、安全機構がはたらき、開いた状態に戻ります。再び動作させるには、障害物を取り除いたあと、オープンボタンまたはスロープ角度切換ボタンを押してください。

### ⚠ 注意

スロープコンソールの開閉時には、指などを挟まないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

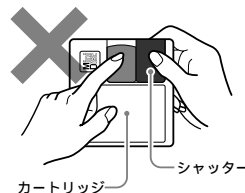
## MDについて

 マークのついたMDをご使用ください。

### 取り扱い上のご注意

直射日光が当たる場所や、温度・湿度の高い場所には保管しないでください。

MDのシャッターを手で開けないでください。



ラベルのはがれかけているMDは使用しないでください。

そのままMDプレイヤーに入れると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

### お手入れ

カートリッジの表面についたホコリやゴミは、乾いたやわらかい布でふきとってください。

## CDまたはMDの演奏について

車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。CDまたはMDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておく、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。

CDまたはMDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。8cmシングルCDまたはMDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

## CDについて

 マークまたは  マークのついたCD

をご使用ください。また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

CD-Rで記録されたCDディスクは使用できない場合があります。また、CD-RWで記録されたCDディスクは使用できません。CD-ROMは使用できません。

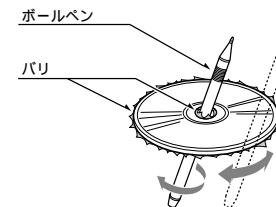
### 取り扱い上のご注意

レーベル面(印刷面)に文字などを記入しないでください。

セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

ディスク面に、傷や指紋をつけないように扱ってください。

新しいCDには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなCDをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。CDにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



### 保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

直射日光の当たる場所  
湿気やホコリの多い場所  
暖房の熱が直接当たる場所

### お手入れ

汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。



# 各部の名称とはたらき

## 本体部



### ENTボタン

- CD/MDモードやCD/MDチェンジャーモード時には、演奏/一時停止をします。
- アジャストモード時には、各種設定の決定に使用します。



### サーチコントロールボタン

- ラジオ/TVモード時は選局に使用します。
- CD/MDモードやCD/MDチェンジャーモード時には、選曲に使用します。押し続けると早送り/早戻しを行います。
- アジャストモード時には、各種の設定に使用します。



### ボリュームコントロールボタン

- 音量を調節します。
- アジャストモード時には、各種の設定に使用します。



### ディスプレイボタン

- ラジオ/TVモード時はタイトル/周波数 時計 スペアナ表示 1-BGVを切り換えます。
- CD/MDモード、CD/MDチェンジャーモード時は、演奏時間 時計表示 スペアナ表示 1-BGVを切り換えます。
- 押し続けて(約1秒間)、ディスク/トラックタイトル表示を切り換えます。



### タイトルボタン

- ラジオ/TVモード、CD/MDチェンジャーモード時に、タイトルリストモードにします。
- 押し続けて(約1秒間)ラジオ/TV局の名称や、CDモードやCDチェンジャーモード時のディスクタイトルの入力/削除、MDモードやMDチェンジャーモード時のタイトルスクロールなどに使用します。



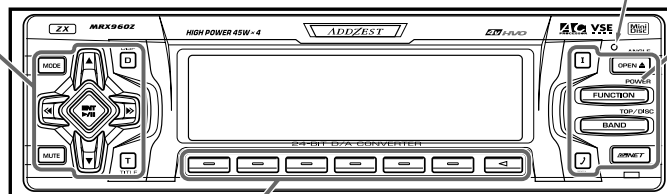
### モードボタン

- VSEモード、P.EQモード、DSFモード、G.EQモード、オーディオモード(バランス/フェダー等の調整)およびアジャストモード(スペアナ感度等の設定)を切り換えます。
- 各種設定・調整項目の選択に使用します。



### ミュートボタン

- すべてのモードで消音します。



リセットボタン



### オープンボタン

- スロープコンソールをオープンします。
- 押し続けて、スロープコンソールの角度を約20°に設定します。
- すでにMDが入っているときに押すと、MDがイジェクトされます。



### ファンクションボタン

- 押し続けて電源をON、押し続けて(約1秒間)、OFFします。
- モードを切り換えます。
- 電話モード時には通話を開始します。



### バンドボタン

- ラジオ/TVモード時はバンド切替、押し続けて(約1秒間)、自動 手動選曲を切り換えます。
- CD/MDモード時は最初の曲に戻ります。
- 電話モード時は、通話を終了し、電話モードを解除します。



### メモリー呼出ボタン

- 現在のモードにかかわらずよくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)初期設定では、交通情報1620kHzです。



### 電話ボタン

- 電話モードに切り換えます。



### リモコン受光部



### シフトボタン

- ダイレクトボタンの機能を切り換えます。
- 12枚CDチェンジャーモードのときには、ディスク表示(7~12)を切り換えます。
- DSF,G.EQ,VSE,P.EQのON/OFFをします。

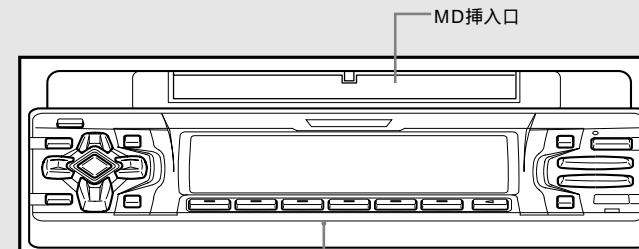


### ダイレクトボタン

- ラジオ/TVモード時には、放送局をメモリーして直接呼出します。
  - CD/MDチェンジャーモード時には、ディスクの選択と演奏モードの切り換えに使用します。
  - CD/MDモード時には、演奏モードの切り換えに使用します。
- 詳しくは、モード別ディスプレイ表示(22~25ページ)をご覧ください。

## スロープコンソールオープン状態

オープンボタンを押すと、スロープコンソールが開きます。



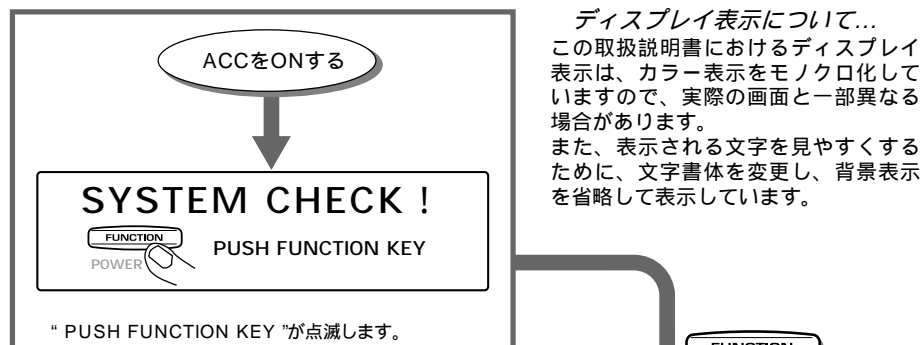
MD挿入口

スロープコンソール



## 各部の名称とはたらき

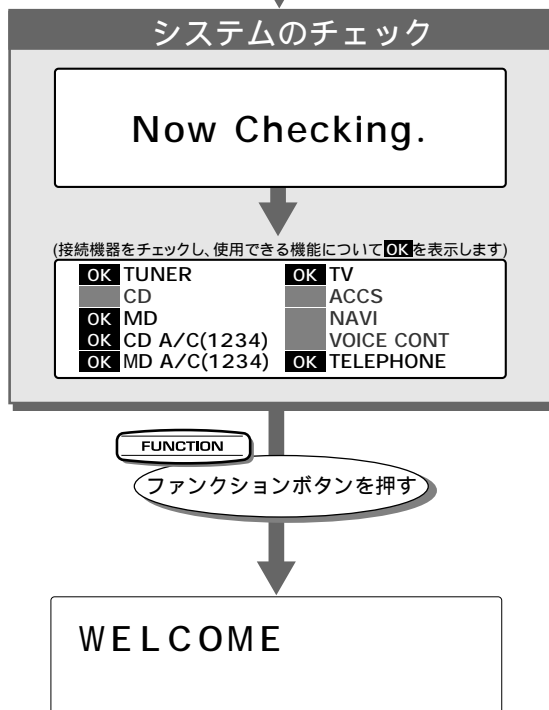
### システムチェック時のディスプレイ表示



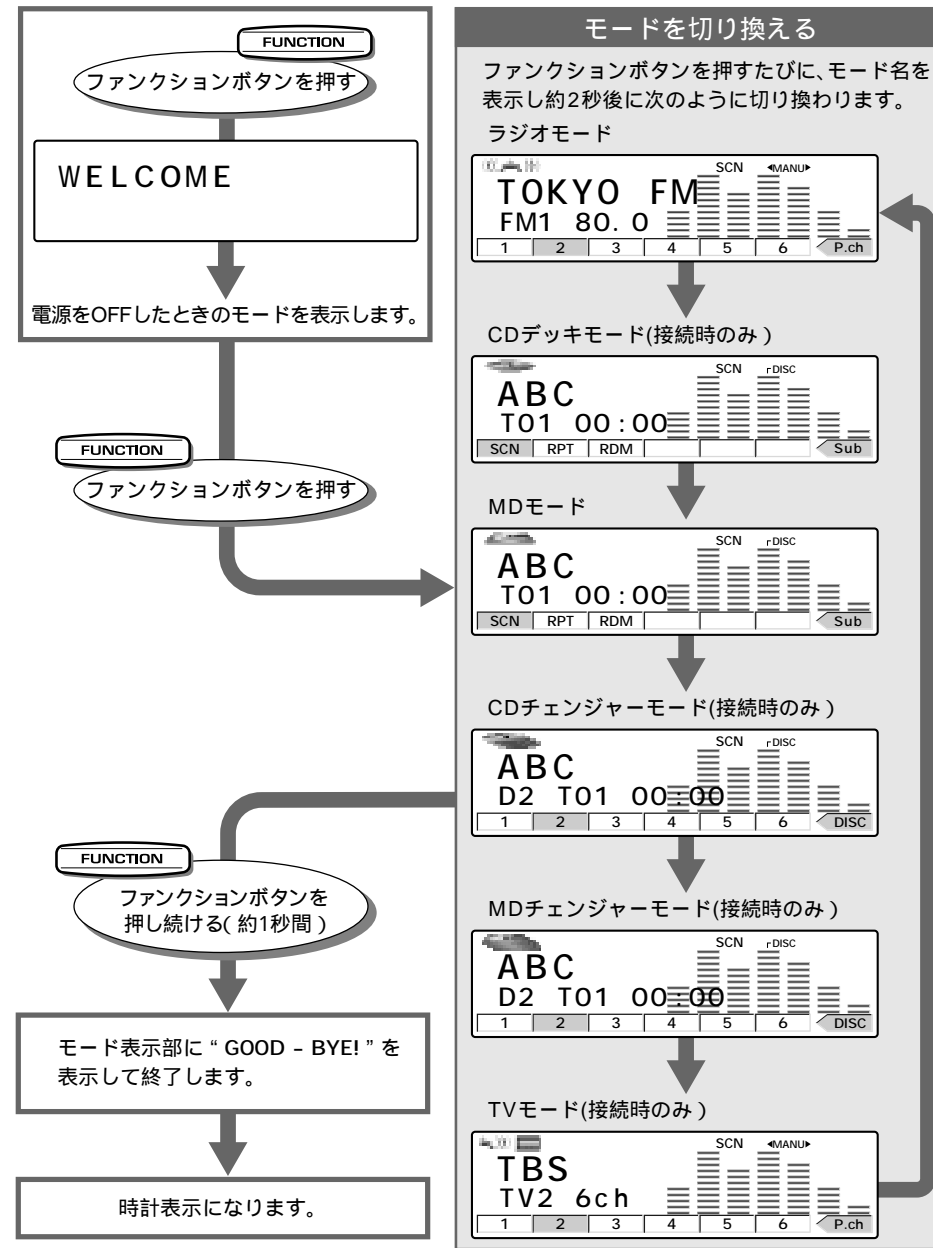
#### システムチェックについて

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。ディスプレイのシステムチェック表示は次のようなときに表示されますので、ファンクションボタンを2回押して通常モードに戻してください。

- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき

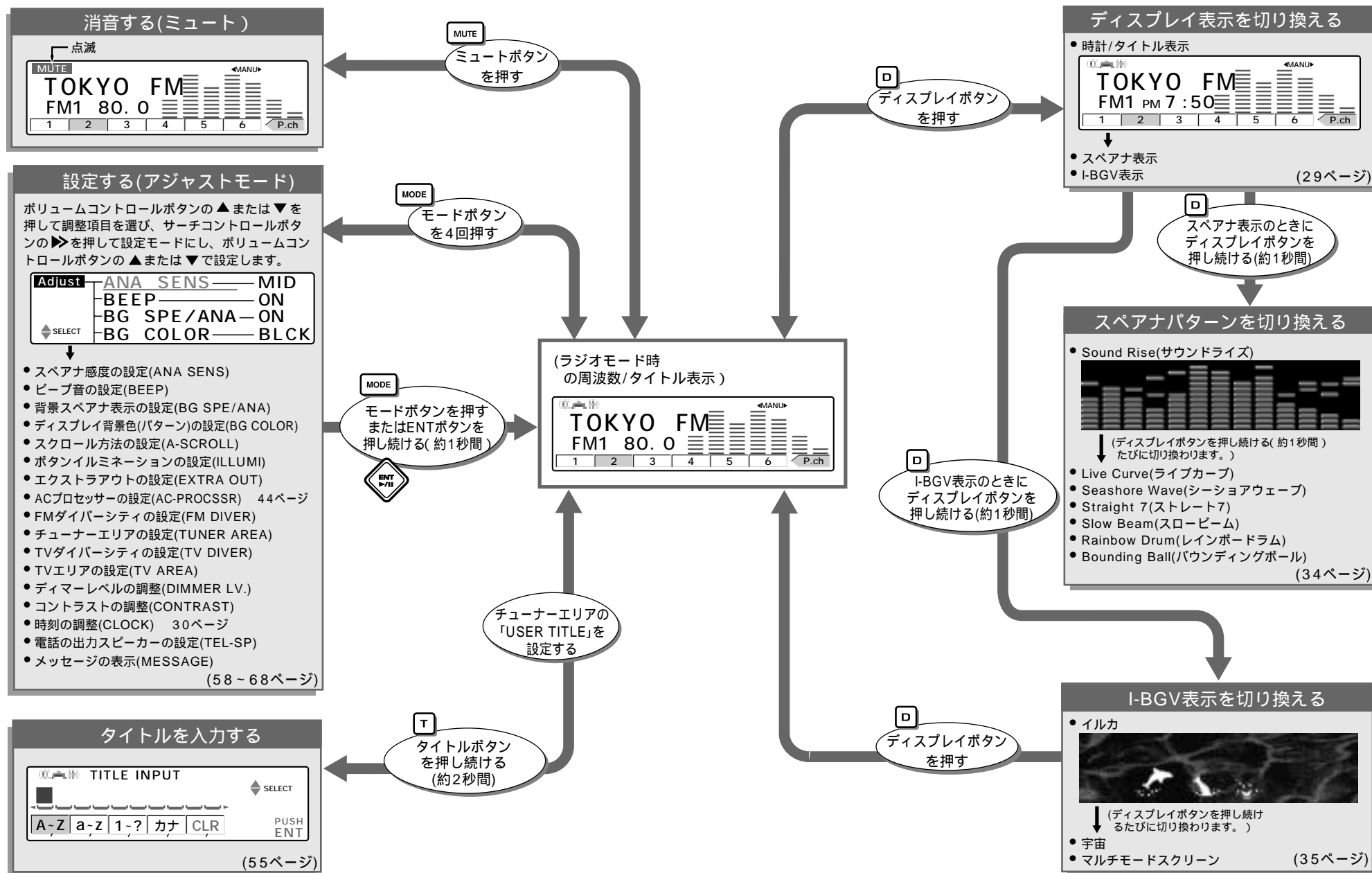


### 電源ON/OFF時のディスプレイ表示



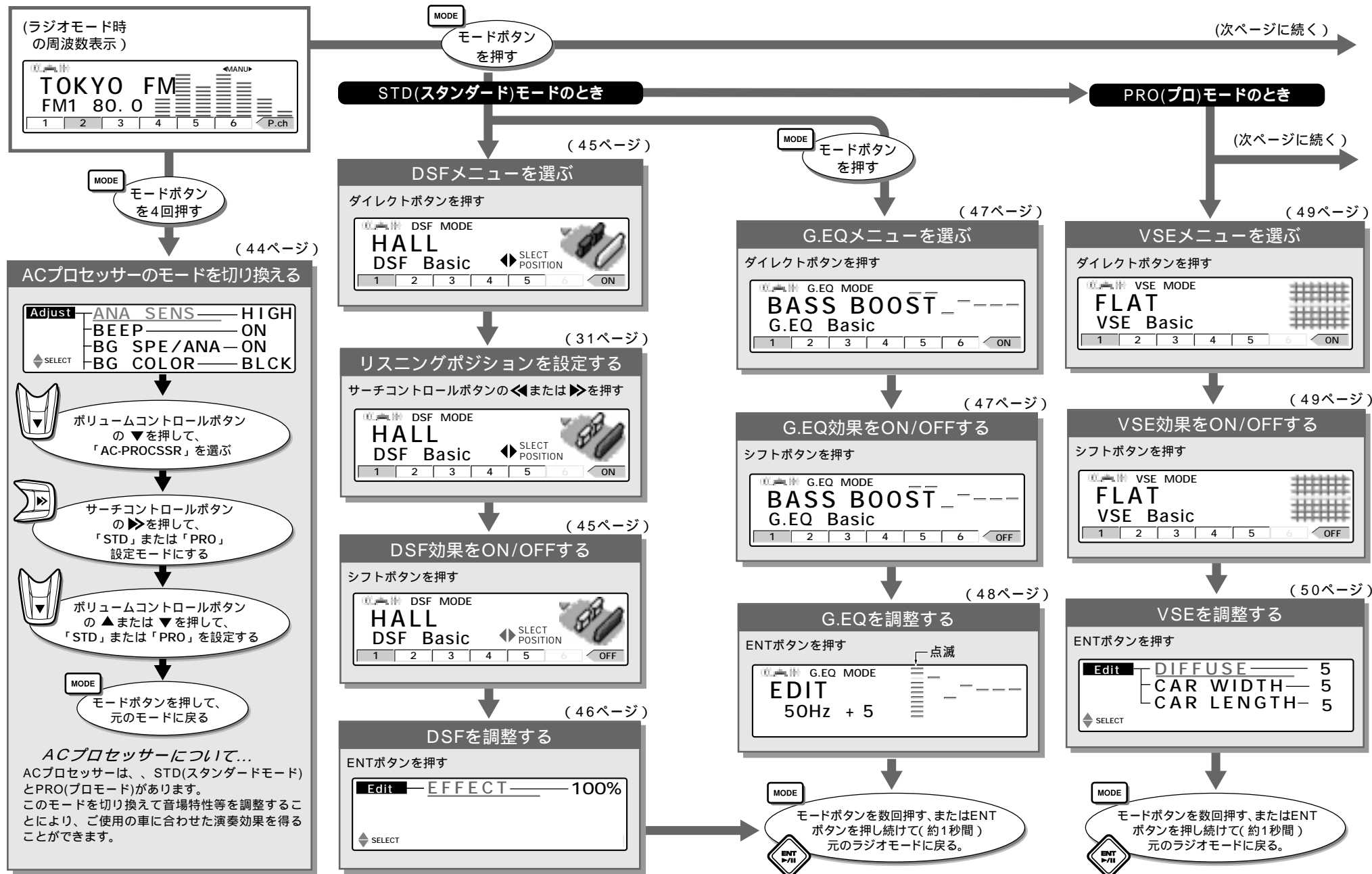
## ■ 各部の名称とはたらき

### 各種設定/調整時のディスプレイ表示



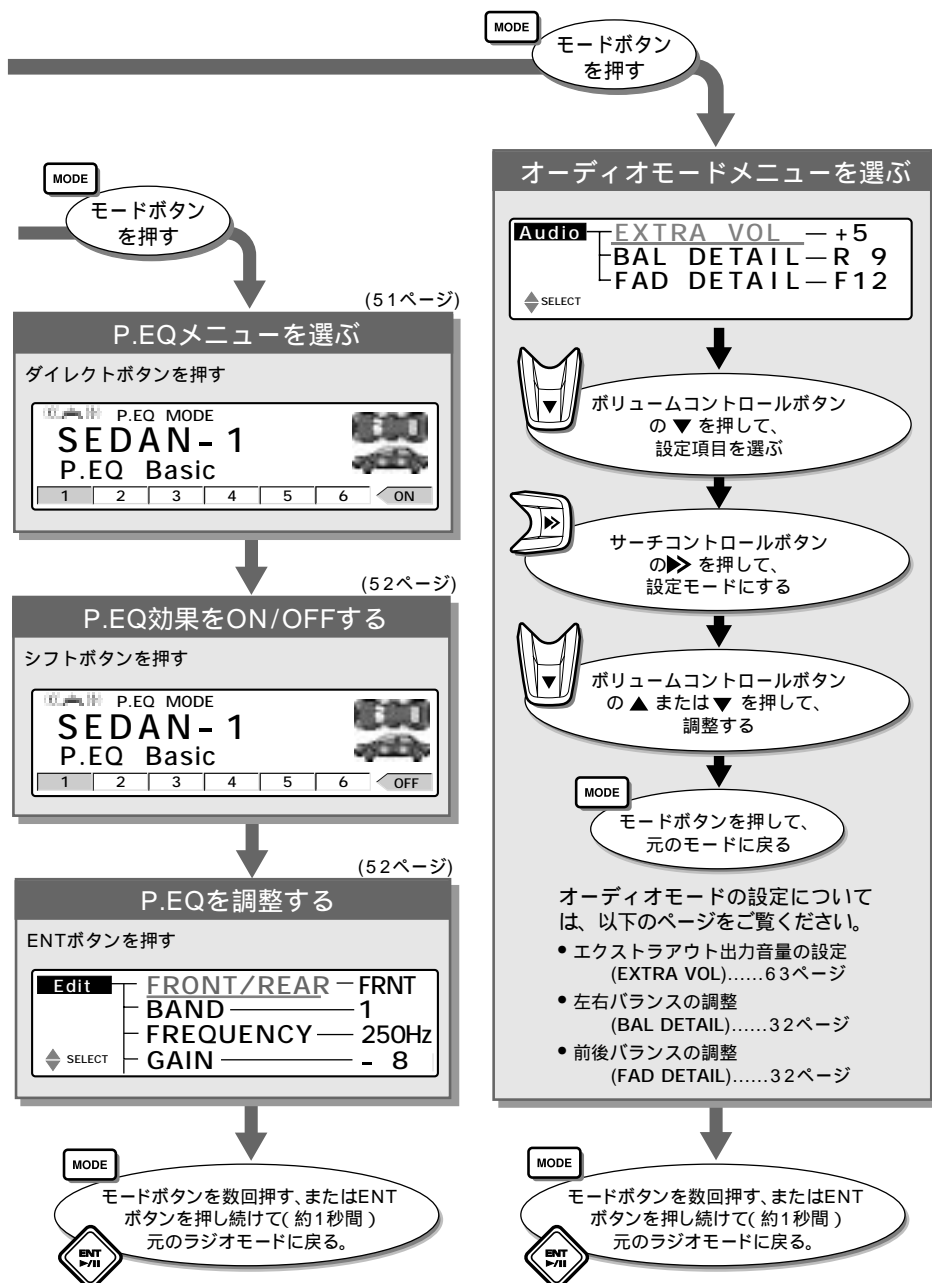
## ■ 各部の名称とはたらき

### 各種設定/調整時のディスプレイ表示



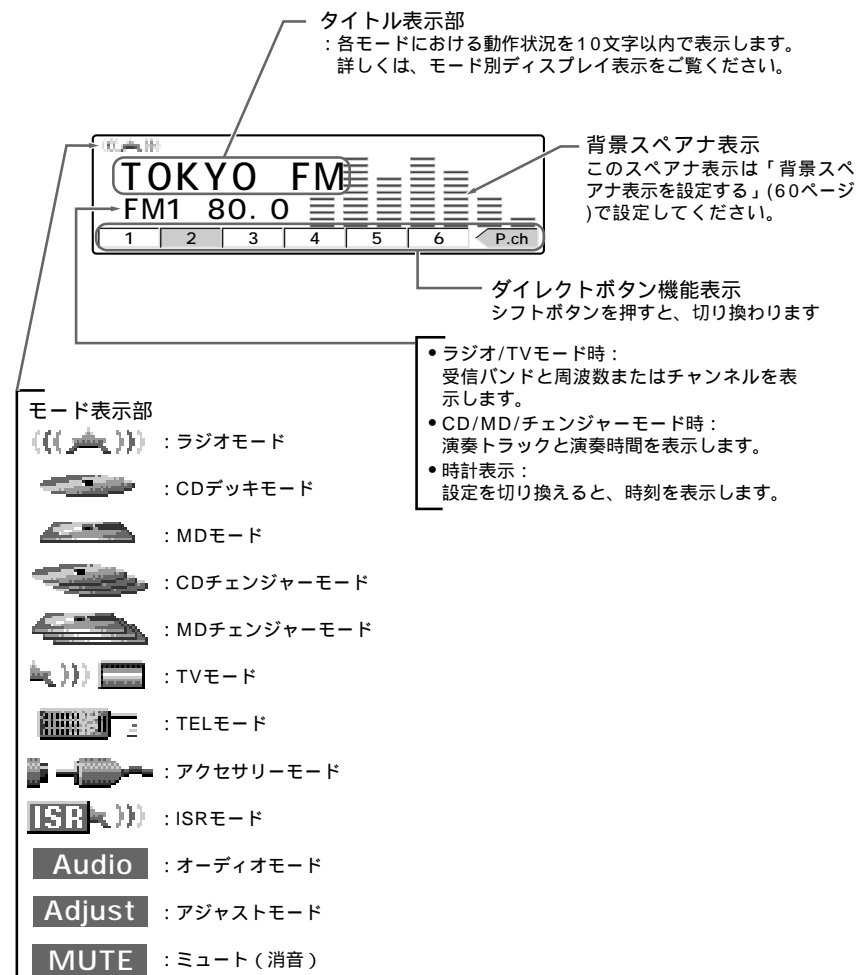
## ■ 各部の名称とはたらき

### 各種設定/調整時のディスプレイ表示



### モード別ディスプレイ表示

#### 各モード共通の表示



## ■ 各部の名称とはたらき

### モード別ディスプレイ表示

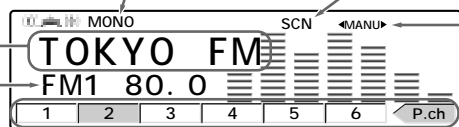
#### ラジオ / TV(接続時)モードの表示

TOKYO FM : 受信中の放送局名  
(表示なし) : タイトル未設定のとき  
P. SCAN ch1 : プリセットスキャン選択時  
STORE 1/6 : オートストア選択時  
SEEK UP : アップ方向への自動選局時  
SEEK DOWN : ダウン方向への自動選局時

MONO  
: TVモード時のモノラル  
音声に設定すると表示

SCN : プリセットスキャン中に表示  
AS : オートストア中に表示

◀MANU▶  
: マニュアル選局に設定さ  
れると表示



- ラジオモード時( )  
FM1 80.0  
: FM受信時のバンドと周波数を表示
- AM1 1620  
: AM受信時のバンドと周波数を表示
- TVモード時( )  
TV2 6ch  
: TV受信時のバンドとチャンネルを表示  
(CeNET結線対応のTVチューナー接続時)

#### ダイレクトボタンの機能表示

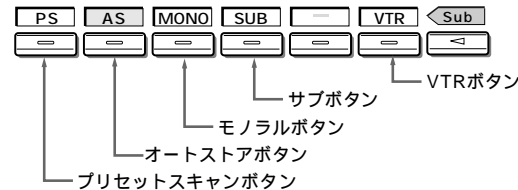
シフトボタン( )を押すと、ダイレクトボタンのサブ機能を表示します。

##### ラジオモード時

ボタンを押すと、背景色が変わります。



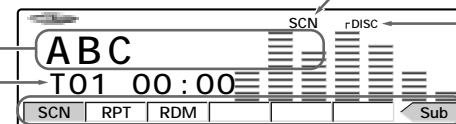
##### TVモード時



#### CD(デッキ接続時)/MDモードの表示

- タイトル表示  
ABC : タイトル表示  
(表示なし) : タイトル未設定のとき
- 演奏切換時に表示(約2秒間)  
T-SCAN : スキャン演奏選択時  
T-REPEAT : リピート演奏選択時  
T-RANDOM : ランダム演奏選択時
- その他の表示  
NO DISC : ディスクがないとき  
ERROR 3 : エラー発生時

SCN : スキャン演奏中表示  
RPT : リピート演奏中表示  
RDM : ランダム演奏中表示



演奏トラック/  
演奏時間を表示

USER : 通常のCDでユーザータイトル表示のとき  
DISC : CDテキスト/MDのディスクタイトル表示のとき  
ARTIST : CDテキストのアーティストタイトル表示のとき  
TRACK : CDテキスト/MDのディスクタイトル表示のとき

#### ダイレクトボタンの機能表示

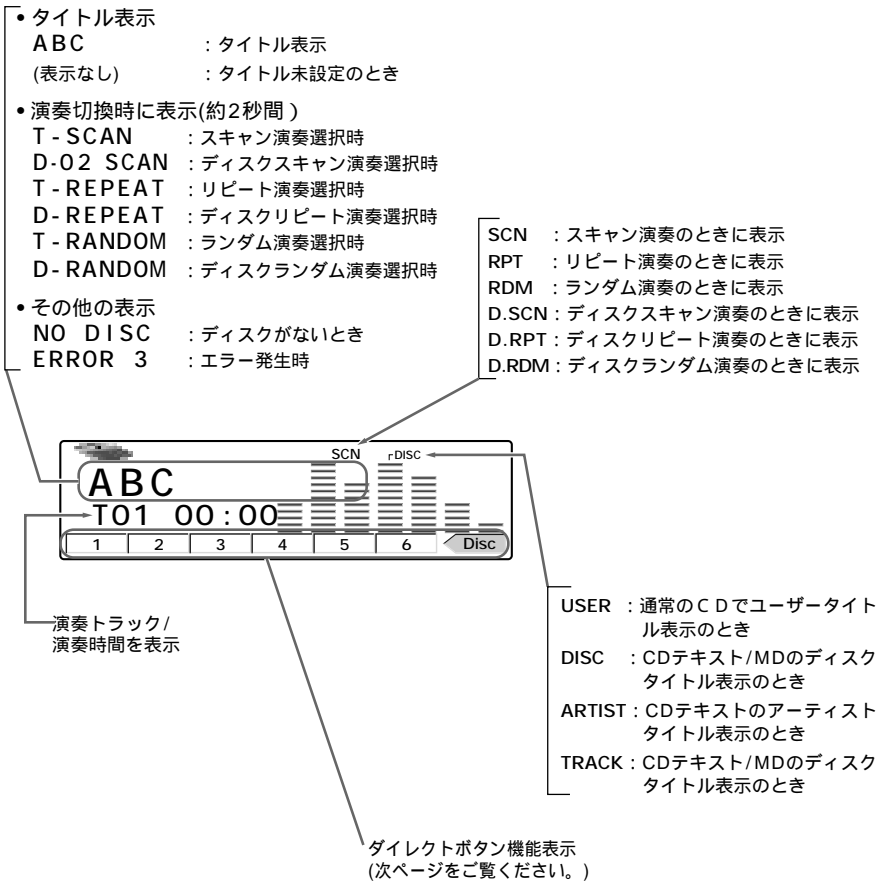
ボタンを押すと、背景色が変わります。



## ■ 各部の名称とはたらき

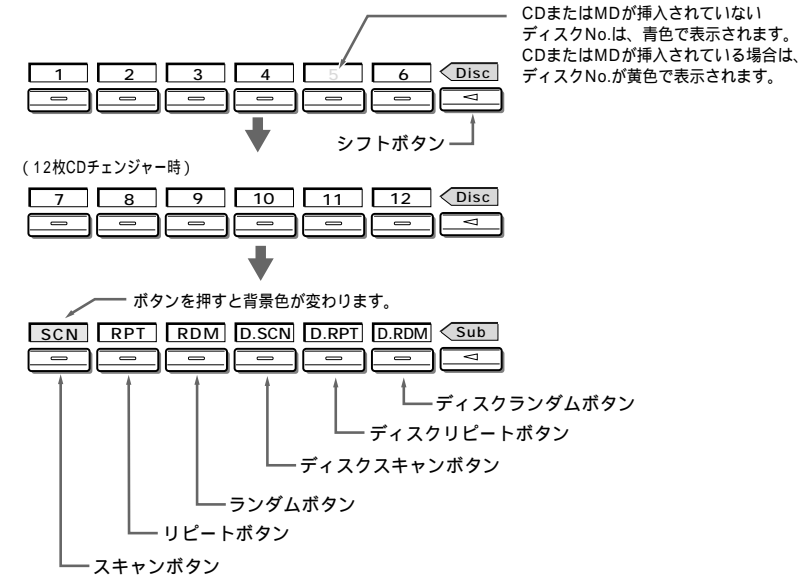
### モード別ディスプレイ表示

#### CD/MD チェンジャーモード(接続時)の表示



#### CD/MDチェンジャーモード時のダイレクトボタンの機能表示

シフトボタン( )を押すと、ダイレクトボタンのサブ機能を表示します。



## ■ 各部の名称とはたらき

### 別販リモコン(RCB-130)の使いかた

#### モードを選ぶ

##### ファンクションボタン

電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。

ラジオ → (CDデッキ) → MD → (CDチェンジャー) → (ACCS) → (TV) → (MDチェンジャー) →

押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。

#### 音量を調節する

##### ▲▼ (ボリューム)ボタン

#### 音を消す

##### ミュートボタン

ミュート(消音)機能をON/OFFします。

#### ISRメモリーを呼出す

##### ISRボタン

ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ISRボタンを押し続けます(約2秒間)。元のモードに戻すには、もう1度ISRボタンを押します。

#### 曲を探す/放送局をプリセットする

##### スキャンボタン

スキャン演奏します。(MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン、ラジオ/TVモード時)また、押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。(オートストア、ラジオ/TVモード時)解除するときは、もう1度スキャンボタンを押します。

#### 繰り返し演奏する

##### リピートボタン

繰り返し演奏します。(MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏をします。(CD/MDチェンジャーモード時)解除するときは、もう1度リピートボタンを押します。

#### ランダム演奏する/TVをVTRに切り換える

##### ランダムボタン

ランダム演奏します。(MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)解除するときは、もう1度ランダムボタンを押します。TVモード時にTVをVTRに切り換えます。

#### 演奏する

##### ▶/|| (プレイ・ポーズ)ボタン

演奏と一時停止をします。(MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)

#### 選曲する/選局する

##### << >> サーチボタン

押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しをします。(MDモード、CD/MDチェンジャーモード時)プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。(ラジオ/TVモード時)

#### 最初の曲から演奏する/バンドを切り換える

##### バンドボタン

最初の曲から演奏します。(MDモード時)受信バンドを切り換えます。(ラジオ/TVモード時)

#### 次のCD(またはMD)を演奏する

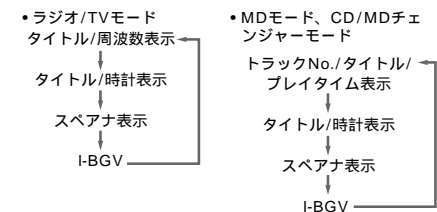
##### ディスクアップボタン

次のCD(またはMD)を演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)

#### 表示を切り換える

##### ディスプレイボタン

次のように表示を切り換えます。

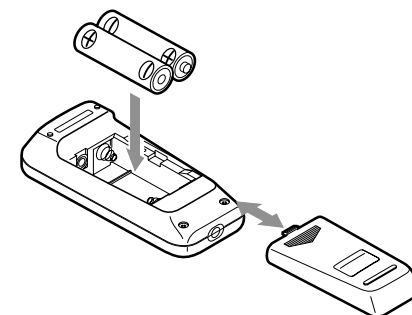


スペアナ表示中に押し続ける(約1秒間)と、スペアナ表示を切り換えます。タイトル表示中に押し続ける(約1秒間)と、タイトル表示を切り換えます。I-BGV表示中に押し続ける(約1秒間)と、I-BGV表示を切り換えます。

本機にCDデッキ(CDS960Z)を接続したときは、再生モードをCDデッキモードに切り換えることにより、MDと同様の操作でCDを聴くことができます。

#### 電池の入れかた

- ① リモコンを裏返して、矢印の方向に裏ぶたをスライドさせます。
- ② 付属の電池(1.5Vの単3形乾電池2個)を図のような向きに入れて、裏ぶたを閉めます。



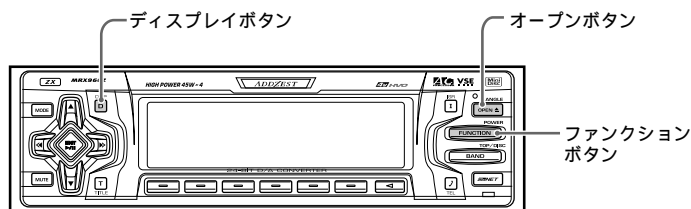
#### ⚠ 注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- ・ 指定電池以外は使用しない。
- ・ 電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- ・ 電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
- ・ 使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。



# 基本の操作



## 電源を入れる

ファンクションボタンを押す

FUNCTION

前回の操作終了時のモードが表示されます。

### ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

- 時刻の設定は、30ページをご覧ください。

### 電源を切るときは...

ファンクションボタンを押し続けてください。(約1秒間)

### システムチェックについて...

結線後、電源ボタンを押して、電源を入れると「SYSTEM CHCK!」が表示されますので、ファンクションボタンを押してください。「Now Checking」が表示され、接続した機器をチェックします。システム確認が終わると接続機能別に「OK」が表示されますので再度ファンクションボタンを押してください。通常の動作をはじめます。詳しくは「システムチェック時のディスプレイ表示」(14ページ)をご覧ください。

## モードを選ぶ

ファンクションボタンを押す

FUNCTION

押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ → (CDデッキ) → MD → (CDチェンジャー) → (ACCS) ← (TV) ← (MDチェンジャー) ←

- 接続していない機器のモードは表示されません。
- MDが入っていないときには「NO DISC」、CDチェンジャーモード時にチェンジャーにマガジンが入っていないときには「NO MAG」を表示します。

## スロープコンソールの角度を調整する

### スロープ角度調整について...

- ディスプレイの表示が見にくいときに、スロープコンソールの角度を変えて見やすくなります。
- スロープコンソールが少し開いた角度のついた状態(角度20度)と、閉じた状態に切り換わります。

オープンボタンを押し続ける(約1秒間)

OPEN ▲

スロープコンソールが少し角度のついた状態になります。

- オープンボタンを押すと、フルオープンとなります。(MDが入っているとMDをイジェクトします。)

### ご注意

本機を使用しないときは、安全のためスロープコンソールを閉じてください。

### スロープコンソールのメモリー角度を解除するには...

オープンボタンを押し続けて(約1秒間)ください。メモリー角度を解除して、スロープコンソールを収納します。

## ディスプレイ表示を切り換える

ディスプレイボタンを押して、表示を選ぶ

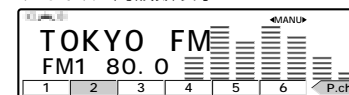


押すたびに、次のように切り換わります。

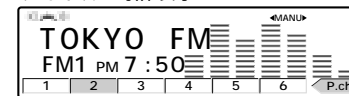
- 設定した表示は、電源のOFF/ON後も継続します。

(ラジオモード時の表示例)

タイトル/周波数表示



タイトル/時計表示



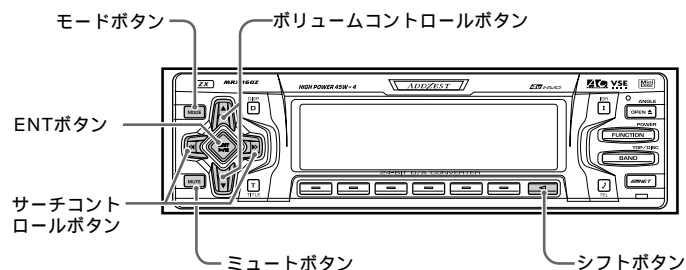
スペアナ表示



I-BGV表示



## ■ 基本の操作



### 時刻を合わせる

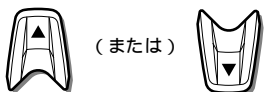
時計表示について...

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。  
時計は12時間表示です。

- 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選ぶ

MODE

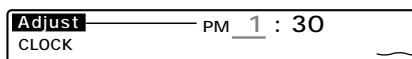
- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「CLOCK」を選ぶ



- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、時計を表示させる

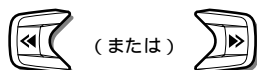


時刻設定モードになります。



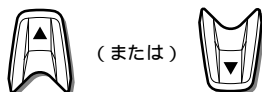
- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

- 4 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、時または分を選ぶ



黄色で表示している項目を調整できます。

- 5 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、数字を合わせる



- 6 手順4～5を繰り返して、時刻を設定する

- 7 ENTボタンを押す



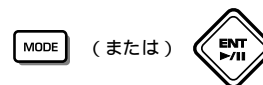
時刻が設定されます。

ご注意

- 点検や修理などでバッテリーをはずしたときには、もう1度時刻合わせをしてください。

次ページに続く>>

- 8 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続ける(約1秒間)



元のモードに戻ります。

### 音量を調節する

- ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押す



音量が大きくなります。



音量が小さくなります。



注意  
運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

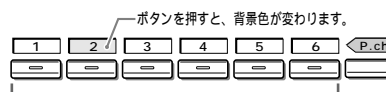
### ダイレクトボタンの機能を切り換える

- シフトボタンを押す



シフトボタンを押すたびに、ダイレクトボタンの機能が切り換わります。

ラジオモード時の表示例



ダイレクトボタン  
(プリセットチャンネル機能)



プリセットスキャンボタン

詳しくは、モード別ディスプレイ表示(22～25ページ)をご覧ください。

### 音量を消す(ミュート)

- ミュートボタンを押す



モード表示部に「MUTE」と選択モードアイコン(車、音等)を交互に表示します。

元の音量に戻すには...

もう1度ミュートボタンを押してください。

### リスニングポジションを設定する

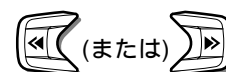
ACプロセッサがスタンダードモード(STD)のときに設定できます。

- 初期設定は「前部座席」です。

- 1 モードボタンを押して、「DSF MODE」を選ぶ

MODE

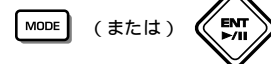
- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、リスニングポジションを選ぶ



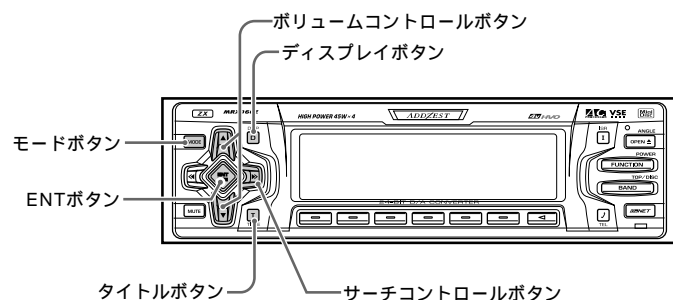
押すたびに、リスニングポジションが切り換わります。



- 3 モードボタンを4回押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



## ■ 基本の操作



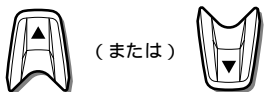
### バランス/フェダーを調整する

バランス、フェダー調整について...  
選択したリスニングポジションに、さらにバランス、フェダーを調整することにより、自然な音像定位をきめ細かく調整できます。

**1** モードボタンを3回押して、オーディオモードを選択する



**2** ボリュームコントロールボタンの▲または▼押して、「BAL DETAIL」または「FAD DETAIL」を選択する



**3** サーチコントロールボタンの▶を押して調整モードに入る



**4** ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、調整量を増減させる  
左右のスピーカー(バランス)の調整



右のスピーカーの音が強調される



左のスピーカーの音が強調される

- 調整範囲は、Left 9 ~ Right 9 です。  
リスニングポジションを「設定なし」に設定しているときには、Left 13 ~ Right 13 です。

前後のスピーカー(フェダー)の調整



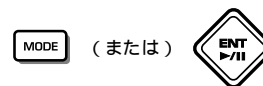
前方スピーカーの音が強調される



後方スピーカーの音が強調される

- 調整範囲は、Front 9 ~ Rear 9 です。  
リスニングポジションを「設定なし」に設定しているときには、Front 12 ~ Rear 12 です。

**5** モードボタンを2回押す。またはENTボタンを押しながら(約1秒間)元のモードにもどる



### タイトル表示を切り換える

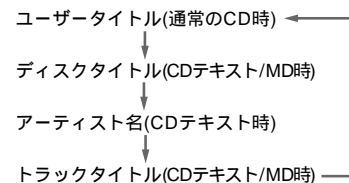
タイトル表示について...

CDモードまたはCDチェンジャーモードにおける通常のCDまたはCDテキスト再生時、MDモード/MDチェンジャーモードにおけるMD再生時に、ディスクにあらかじめ登録されているディスクタイトルまたは曲(トラック)タイトル等を、本機のディスプレイに表示します。

タイトルが表示されているときに、ディスプレイボタンを押しながら(約1秒間)



ディスプレイボタンを押しながら、次のように表示が切り換わります。



タイトルが設定されていないときの表示は、モード別ディスプレイ表示(23 ~ 24ページ)をご覧ください。

### タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて...

タイトルスクロールは、「タイトルスクロール方法を設定する」(62ページ)で選択したスクロール方法に従って表示します。

- 「ON」: 自動でスクロールを開始し、スクロールし続けます。
- 「OFF」: タイトルボタンを押すとスクロールします。

以下の記載は、「OFF」に設定されているときの操作手順です。

タイトルが表示されているときに、タイトルボタンを押しながら(約1秒間)



タイトルが左にスクロールします。

- タイトルの末尾まで表示すると、最初の10文字表示に戻ります。

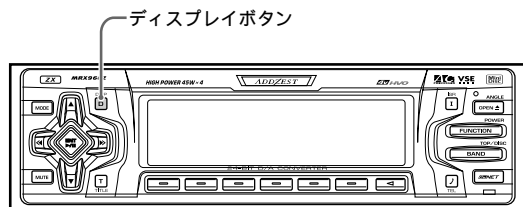
#### ご注意

以下の設定状況にあるときは、タイトルボタンを押してもタイトルスクロールはしません。

- ラジオ/TVモードはタイトルスクロールしません。
- CDモード/CDチェンジャーモードで「USER TITLE」を選択しているとき。

この設定のときに、タイトルボタンを押すと、タイトルリストモードになりますので、ご注意ください。

次ページに続く>>



## スペアナパターンを切り換える

スペクトラムアナライザー（スペアナ）とは...

周波数分析のことで、いくつかの周波数のサウンドレベルをディスプレイに表示します。本機は、7種類のパターンから、お好みにより選ぶことができます。

\* スペクトラムアナライザーのサウンドレベル表示は、次のようなときには表示しません。

- ラジオモード時のシーク選局中、プリセットスキャン中、オートストア中。
- MDモード、CDモード時、CDチェンジャーモード時のディスク/トラックサーチ中、早送り/早戻し中、「NO DISC」表示中。
- エラー表示中。
- 一時停止中。

### 1 ディスプレイボタンを押して、スペアナ表示にする



ディスプレイボタンを押すたびに、タイトル等表示 時計表示 スペアナ表示 I-BGV表示 タイトル等表示 ... と切り換わります。

### 2 ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)

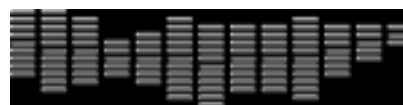


押し続けるたびに、次ページのように切り換わります。

#### 1.Sound Rise(サウンドライズ)



#### 2.Live Curve(ライブカーブ)



#### 3.Seashore Wave(シーショアウェーブ)



#### 4.Straight 7(ストレート7)



#### 5.Slow Beam(スロービーム)



#### 6.Rainbow Drum(レインボードラム)



#### 7.Bounding Ball(バウンディングボール)



## I-BGVを切り換える

I-BGVについて...

I-BGV(インタラクティブ・バックグラウンド・ビュー)表示に切り換えることにより、ディスプレイをグラフィカルに演出します。本機単体で使用しているときは、3種類のパターンから、お好みにより選ぶことができます。また、CDデッキ(CDS960Z)を接続したときには、連動スペアナが2パターン追加されます。

マルチモードスクリーン(MULTI MODE SCREEN)について...

マルチモードスクリーンは、本機の機能について、その設定内容を次々と表示する機能です。

### 1 ディスプレイボタンを押して、I-BGV表示にする



ディスプレイボタンを押すたびに、タイトル等表示 時計表示 スペアナ表示 I-BGV表示 タイトル等表示 ... と切り換わります。

### 2 I-BGV表示のときに、ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)



押し続けるたびに、I-BGVパターンが次のように切り換わります。

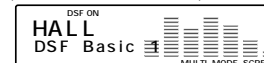
スクリーンセーバー・1(イルカ)



スクリーンセーバー・2(宇宙)



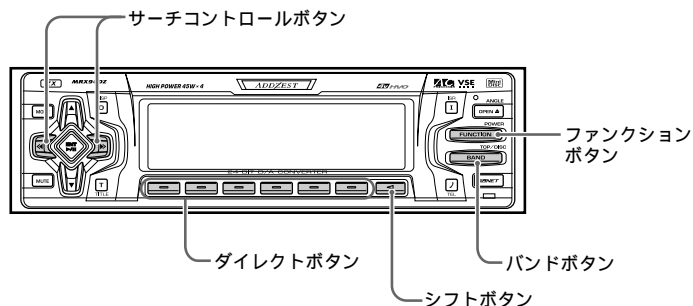
スクリーンセーバー・3(マルチモードスクリーン)



I-BGV表示を解除するには...

ディスプレイボタンを押してください。

# ラジオ放送を聴く



## ラジオモードを選ぶ

- 1 ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ



ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオ → (CDデッキ) → MD → (CDチェンジャー) → (ACCS) → (TV) → (MDチェンジャー)

### ご注意

ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

- 受信地域内の放送局名を表示させたいときは、「チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)」(64ページ)で受信エリアを設定してください。
- FMダイバーシティアンテナを使用しないときは、「FM ダイバーシティを設定する(FM DIVER)」(65ページ)で設定を「OFF」にしてください。

## 受信バンドを切り換える

- 1 バンドボタンを押す



バンドボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2

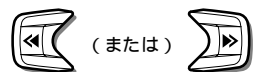
## 自動選局する(シーク選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、自動選局ができます。

- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押す



放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

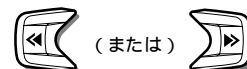
## 手動選局する(マニュアル選局)

- 1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、放送のあるところに合わせる



\* 手動選局には、クイック選局とステップ選局があります。

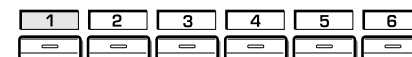
- ステップ選局のときは、サーチコントロールボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチコントロールボタンを押し続ける(約1秒間)と、周波数が連続して切り換わり、好みの周波数に合わせることができます。

## プリセット選局する

### プリセット選局について...

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

ダイレクトボタン(1~6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



ディスプレイにプリセットNo.を表示します。

- メモリーするときは、「プリセットメモリーする」(次項)をご覧ください。

### ご注意

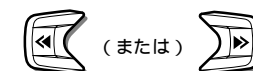
選局時にダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

## プリセットメモリーする

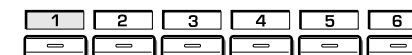
### プリセットメモリーについて...

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

- 1 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



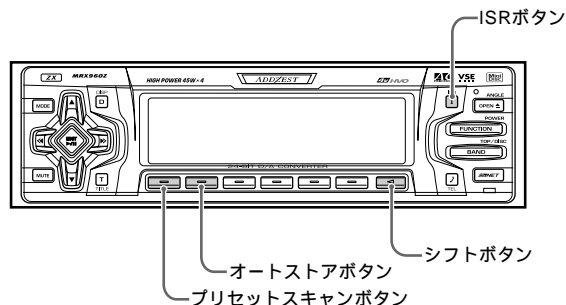
- 2 メモリーさせたいダイレクトボタン(1~6)を押し続ける(約2秒間)



メモリーされると、ディスプレイにプリセットNo.を表示し、「ピー」と鳴ります。

- ディスプレイがサブ表示(Sub)になっているときは、シフトボタンを押してプリセットチャンネル表示に切り換えてください。

## ラジオ放送を聴く



### 自動メモリーする(オートストア機能)

#### オートストア機能について...

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

#### 1 シフトボタンを押して、ダイレクトボタン機能を切り換える



ダイレクトボタン機能表示が「Sub」になります。機能表示はシフトボタンを押すたびに切り換わります。

#### 2 オートストアボタンを押し続ける(約2秒間)



タイトル表示部に「STORE 1/6」を約1秒間表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1~6)にメモリーされていきます。

#### ご注意

- 自動メモリーをすると、これまでメモリーされていた放送局は消去されます。
- メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、メモリーされなかったダイレクトボタンにはそれまでのメモリー内容が残っています。
- すでにメモリーされている放送局を、別のダイレクトボタンにメモリーすることはありません。

### 放送を確かめる(プリセットスキャン)

#### プリセットスキャンについて...

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

#### 1 シフトボタンを押して、ダイレクトボタン機能を切り換える



ダイレクトボタン機能表示が「Sub」になります。機能表示はシフトボタンを押すたびに切り換わります。

#### 2 プリセットスキャンボタンを押す



タイトル表示部に「P.SCAN ch1」を表示します。

- プリセットスキャンはメモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

#### プリセットスキャンを解除するには...

もう1度、プリセットスキャンボタンを押してください。

ボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

### 特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)

#### ISR(Instant Station Recall)機能について...

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。(初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています)

#### ISRボタンを押す



初期設定時は、タイトル表示部に受信周波数(「AM 1620」)を、モード表示部に「ISR」を表示し、ISRにメモリーされている放送局を選局します。

#### 元のモードに戻すには...

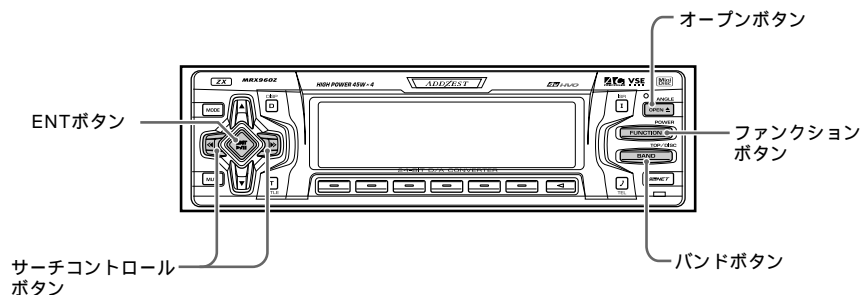
もう1度ISRボタンを押してください。

#### ISRにメモリーするには...

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、ISRボタンを押し続け(約2秒間)てください。

ISRにメモリーされます。

# MD(CD)を聴く



## MDを入れる

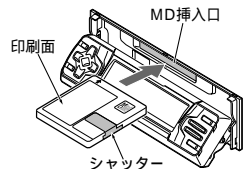
ディスク・イン・プレイ機能について...  
本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればMDを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

### 1 オープンボタンを押す




スロープコンソールが開きます。

### 2 MD挿入口にMDを入れる



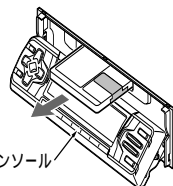
MDを入れると、演奏が始まります。

- MDは、印刷面に上にして、シャッター板を右側に入れてください。
- すでにMDが入っている場合は、入れられません。無理に入れないでください。
- 本機は  マーク表示の無いIMDは使用できません。
- タイトル表示については、「タイトル表示を切り換える」(33ページ)をご覧ください。
- モノラルモードで録音されたMDは再生できません。

## MDを取り出す

バックアップイジェクト機能について...  
本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、MDを取り出すことができます。

### イジェクトボタンを押す



スロープコンソールが開いて、MDがイジェクトされます。

- イジェクトされたMDは、必ず取り出してください。

### ご注意

- MDを挿入した直後にイジェクトすると、プレイ動作表示後に「ERROR 6」を表示することがあります。この状態ではMDを再挿入できませんので、イジェクトボタンを押してエラー表示を解除してください。

## すでに入っているMDを聴く

ファンクションボタンを押して、MDモードを選ぶ



MDモードになると、自動的に演奏が始まります。

- ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオ → (CDデッキ) → MD → (CDチェンジャー) → (ACCS) → (TV) → (MDチェンジャー)

### CDデッキ接続時の操作について...

本機にCDデッキ(CD960Z)を接続したときは、再生モードをCDデッキモードに切り換えることにより、MDと同様の操作でCDを聴くことができます。

## 曲を選ぶ

次の曲を聴くときは、サーチコントロールボタンの▶を押す



前の曲を聴くときは、サーチコントロールボタンの◀を2回押す



▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

◀を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチコントロールボタンの◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

## 演奏を止める(一時停止)

ENTボタンを押す



タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

続けて演奏を聴きたいときには...

もう1度ENTボタンを押してください。

## 早送り/早戻しする

早送りするときは、サーチコントロールボタンの▶▶を押し続ける



早戻しするときは、サーチコントロールボタンの◀◀を押し続ける



## 最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について

演奏しているMDの最初の曲から演奏をはじめます。

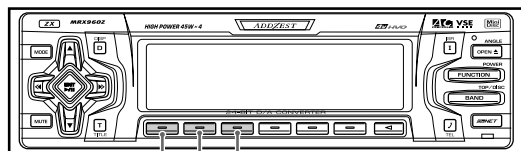
バンドボタンを押す



最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。



## ■ MD(CD)を聴く



スキャンボタン  
ランダムボタン  
リピートボタン

### 聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

#### スキャン演奏について...

MDに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押す



ディスプレイに「SCN」が点灯し、タイトル表示部に「T-SCAN」を表示して、スキャン演奏をします。

#### スキャン演奏を解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。

ディスプレイの「SCN」が消え、いま演奏している曲が演奏されます。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

### 1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

#### リピート演奏について...

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押す



ディスプレイに「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「T-REPEAT」を約1秒間表示して、リピート演奏をします。

#### リピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。

ディスプレイの「RPT」が消え、演奏している曲から通常の演奏になります。

### ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

#### ランダム演奏について...

MDに収録されている曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押す



ディスプレイに「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「T-RANDOM」を約1秒間表示して、ランダム演奏をします。

#### ランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

# ACプロセッサーにできること

## 手軽に音を楽しみたい方へ

### スタンダードモード(STD)の特長

- DSFによる音場シミュレーションでホールやライブハウスなど、その場所にいるような臨場感が手軽に得られます。
- G.EQによる7バンドのイコライザーで周波数レベルの補正が簡単に行えます。

### スタンダードモード(STD)で調整できる項目

#### デジタル・サウンド・フィールド(DSF)

- リスニングポジションの調整
- DSFメニューの選択
- DSF効果のON/OFFの切り換え
- DSFの音場調整

#### グラフィックイコライザー(G.EQ)

- G.EQメニューの選択
- G.EQ効果のON/OFFの切り換え
- G.EQの周波数調整およびメモリー

## 車種に合わせたハイレベルの補正を行う方へ

### プロモード(PRO)の特長

- VSEによる車室シミュレーションで、どの座席に座っていても同じ音響効果が得られるように、車室内の音圧分布の補正が行えます。
- P.EQによる車種に合わせた周波数補正により、周波数レベル全域をなめらかなカーブできめ細かく補正することができます。

### プロモード(PRO)で調整できる項目

#### バーチャルスペースエンハンサー(VSE)

- VSEメニューの選択
- VSE効果のON/OFFの切り換え
- VSEの車室音場調整およびメモリー

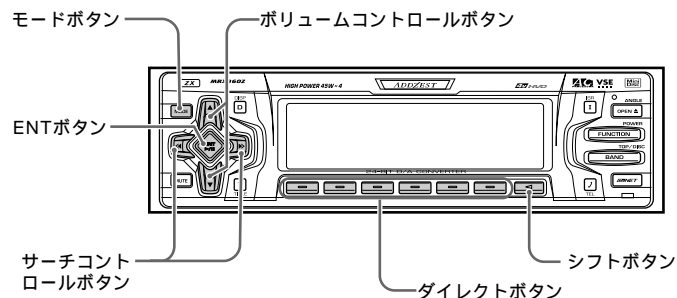
#### パラメトリックイコライザー(P.EQ)

- P.EQメニューの選択
- P.EQ効果のON/OFFの切り換え
- P.EQの周波数調整およびメモリー

### どちらのモードでも調整できる項目

- 7バンド・スペクトラム・アナライザー(スペアナ)表示
- G.EQ、VSE、P.EQのユーザーメモリーへのタイトル入力
- エクストラアウトの調整
- フロントおよびリア出力の再生帯域の調整
- スタンダードモード(STD)とプロモード(PRO)の切り換え

# スタンダードモードとプロモードを切り換える



## モード選択について...

スタンダードモード(STD)またはプロモード(PRO)を選択してユーザーのレベルに合わせた音の調整、補正を行うことができます。

### スタンダードモード(STD)

DSFおよびG.EQによって音質、音場が調整できます。

### プロモード(PRO)

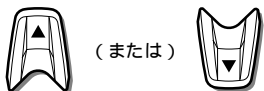
VSEおよびP.EQによって音質、音場が調整できます。

• 初期設定は「STD」です。

- 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選択する



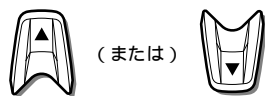
- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「AC PROCSSR」を選ぶ



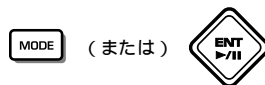
- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、「STD」または「PRO」設定モードにする



- 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「STD」または「PRO」に設定する



- 5 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



## ご注意

スタンダードモード(STD)で行った調整は、プロモード(PRO)時には反映されません。また、プロモード(PRO)で行った調整は、スタンダードモード(STD)時には、反映されません。

# DSFの操作(スタンダードモード)

## DSFメニューを選ぶ

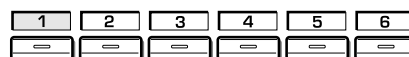
DSF(デジタル・サウンド・フィールド)について...

音場シミュレーションでホールやライブハウスなど、その場所にいるような臨場感が手軽に得られます。

- 1 モードボタンを押して、「DSF MODE」を選ぶ



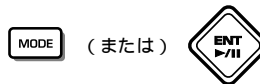
- 2 ダイレクトボタンを押して、DSFメニューを選ぶ



## DSFベーシックメニュー

ボタン	機能名	内容
1	HALL(ホール)	小規模なホールのような音場
2	LIVE HOUSE(ライブハウス)	ジャズクラブより大きめのライブハウス
3	CLUB(クラブ)	低音が強調されたクラブのような音場
4	JAZZ CLUB(ジャズクラブ)	天井が低いジャズクラブのような音場
5	STUDIO(スタジオ)	リスニングルームのような音場

- 3 モードボタンを4回押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



## DSF効果をON/OFFする

ディスプレイのシフトボタン機能表示が「ON」のときは、DSF効果が「ON」に設定されています。

• 初期設定は「ON」です。

DSF効果を「OFF」に設定していると、「DSFの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

- 1 モードボタンを押して、「DSF MODE」を選ぶ

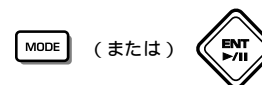


- 2 シフトボタンを押して、「ON」または「OFF」に切り換える

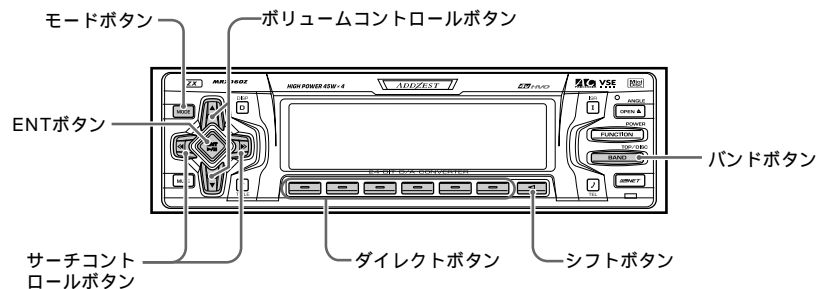


ディスプレイのシフトボタン機能表示(ON)がOFFまたはONに切り換わります。

- 3 モードボタンを4回押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



## DSFの操作(スタンダードモード)



### DSFを調整する

1 DSFメニューを選ぶ手順(1~3)で、調整のベースにするDSFメニューを選ぶ

2 ENTボタンを押す

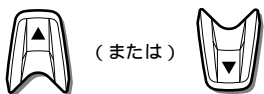


EFFECT(エフェクト:反射音の割合)調整モードになります。



3 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、カーソルを右側に移動する

4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、エフェクト調整を行う

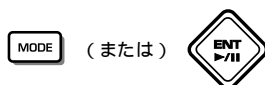


• 調整範囲は0~100です。

5 調整し終わったら、ENTボタンを押す



6 モードボタンを4回押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



## G.EQの操作(スタンダードモード)

### G.EQメニューを選ぶ

G.EQ (Graphic Equalizer) について...

7バンドのイコライザーで周波数レベルの補正が簡単に行えます。  
「スタンダードモードとプロモードを切り換える」(44ページ)の手順でスタンダードモード(STD)にしてください。

1 モードボタンを2回押して、「G.EQ MODE」を選ぶ



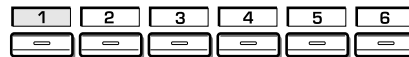
2 バンドボタンを押して、「G.EQ Basic」を選ぶ



ディスプレイに「G.EQ Basic」が表示されます。

• バンドボタンを押すたびに、「G.EQ Basic」と「G.EQ User」が切り換わります。

3 ダイレクトボタンを押して、G.EQメニューを選ぶ



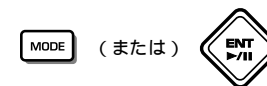
#### G.EQベーシックメニュー

ボタン	機能名	内容
1	BASS BOOST (バスブースト)	重低音増強
2	HIGH BOOST (ハイブースト)	中高音域増強
3	ACOUSTICAL (アコースティカル)	中音域(人の声)増強
4	IMPACT (インパクト)	低音域と高音域を増強
5	SMOOTH (スムース)	しっとりとした感じ
6	FLAT (フラット)	原音、フラットイコライジング

#### ご注意

スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。また、プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。

4 モードボタンを3回押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



### G.EQ効果をON/OFFする

ディスプレイのシフトボタン機能表示が「ON」のときは、G.EQ効果が「ON」に設定されています。

• 初期設定は「ON」です。

1 モードボタンを2回押して、「G.EQ MODE」を選ぶ

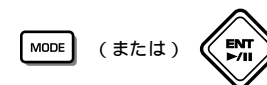


2 シフトボタンを押して、「ON」または「OFF」を切り換える

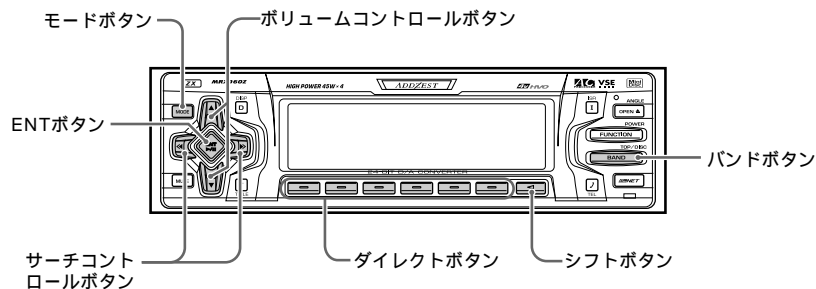


ディスプレイのシフトボタン機能表示「ON」がOFFまたはONに切り換わります。

3 モードボタンを3回押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



## ■ G.EQの操作(スタンダードモード)



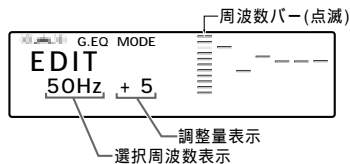
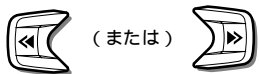
### G.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

**1** G.EQメニューを選ぶ手順(1~3)で、編集のベースとなるG.EQメニューを選ぶ

**2** ENTボタンを押す

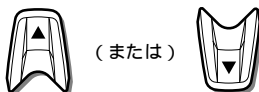


**3** サーチコントロールボタンの◀ または ▶ を押して、調整する周波数を選ぶ



- 調整周波数は、周波数バー表示の右側から、50Hz、100Hz、200Hz、400Hz、1kHz、3kHz、12kHzです。

**4** ボリュームコントロールボタンの▲ または ▼ を押して調整する



- 調整範囲は、-12dB ~ +12dBです。
- レベルを上げすぎると、音がひずむ場合があります。

**5** 手順3~4を繰り返して、各周波数を調整する

**6** 調整を終えたら、ENTボタンを押す



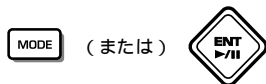
**7** メモリーするときは、ディレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



ユーザーメニューにメモリーされます。

- ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「VSE/EQメニューにタイトルをつける」(54ページ)をご覧ください。

**8** モードボタンを3回押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



## ■ VSEの操作(プロモード)

### VSEメニューを選ぶ

VSE(バーチャル・スペース・エンハンサー)について...

車室シミュレーションで、どの座席に座っていても同じ音響効果が得られるように、車室内の音圧分布の補正が行えます。「スタンダードモードとプロモードを切り換える」(44ページ)の手順でプロモード(PRO)にしてください。

**1** モードボタンを押して、「VSE MODE」を選ぶ



**2** バンドボタンを押して、「VSE Basic」を選ぶ



ディスプレイに「VSE Basic」が表示されます。  
 ・バンドボタンを押すたびに、「VSE Basic」と「VSE User」が切り換わります。

**3** ディレクトボタンを押して、V.S.Eメニューを選ぶ

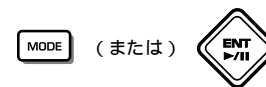


#### VSEベーシックメニュー

ボタン	S.EQ名	周波数特性
1	FLAT	フラットな特性
2	BASS BOOST	低音域を強調
3	HIGH BOOST	高音域を強調
4	IMPACT	低音域と高音域を強調
5	ACOUSTICAL	中音域を強調
6	SMOOTH	低音域から高音域にかけて段階的に減少

- ユーザーメモリーを選ぶときは、バンドボタンを押して「User」を選ぶ。

**4** モードボタンを4回押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



#### ご注意

プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。また、スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。

### VSE効果をON/OFFする

ディスプレイのシフトボタン機能表示が「ON」のときは、VSE効果が「ON」に設定されています。

- 初期設定は「ON」です。
- VSE効果をOFFに設定すると、「VSEの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

**1** モードボタンを押して、「VSE MODE」を選ぶ

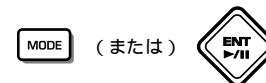


**2** シフトボタンを押して、「ON」または「OFF」を切り換える

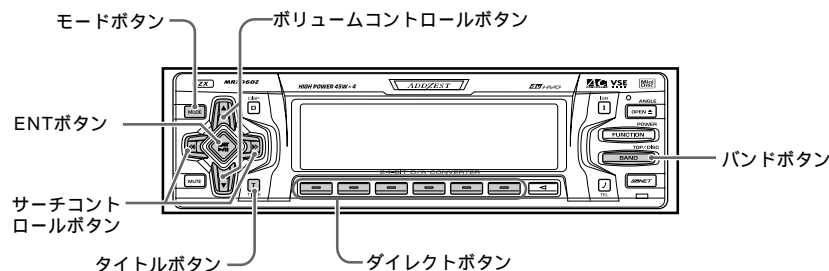


ディスプレイのシフトボタン機能表示(ON)がOFFまたはONに切り換わります。

**3** モードボタンを4回押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



## VSEの操作(プロモード)



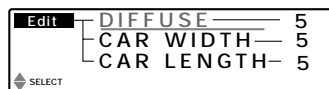
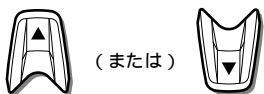
### VSEを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

**1** VSEメニューを選ぶ手順(1~3)で、調整のベースにするV.S.Eメニューを選ぶ

**2** ENTボタンを押す

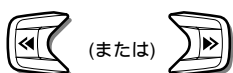


**3** ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、調整項目を選ぶ

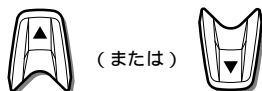


- 調整範囲は、1~10です。  
DIFFUSE...広がり感の補正ズレを調整します。
- CAR WIDTH...車内の幅(横方向)に対する補正ズレを調整します。
- CAR LENG...車内の長さ(縦方向)に対する補正ズレを調整します。

**4** サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、カーソルを右側に移動する



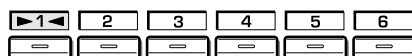
**5** ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、調整する



**6** 手順3~4を繰り返して調整し終わったら、ENTボタンを押す



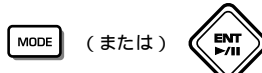
**7** 調整内容をメモリーするときは、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



ユーザーメニューにメモリーされます。

- ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「VSE/EQメニューにタイトルをつける」(54ページ)をご覧ください。

**8** モードボタンを4回押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



## P.EQの操作(プロモード)

### P.EQメニューを選ぶ

P.EQ(Parametric Equalizer)について...

車種に合わせた周波数補正により、周波数レベル全域をなめらかなカーブできめ細かく補正することができます。  
「スタンダードモードとプロモードを切り換える」(44ページ)の手順でプロモード(PRO)にしてください。

**1** モードボタンを2回押して、「P.EQ MODE」を選ぶ



**2** バンドボタンを2回押して、「P.EQ Basic」を選ぶ



ディスプレイに「P.EQ Basic」が表示されます。

- 押すたびに、「P.EQ User」と「P.EQ Basic」が切り換わります。

P.EQベーシックメニューについて

本機には、あらかじめ車種およびスピーカー取付位置タイプに合わせた、6種類のベーシックP.EQメニューがメモリーされています。車種タイプとその設定値は、以下の通りです。

#### 車種タイプ

1.セダン-1(SEDAN-1)	フロント;2WAY	リア;リアパーセル
2.セダン-2(SEDAN-2)	フロント;FULL	リア;リアドア
3.ワゴン-1(WAGON-1)	フロント;2WAY	リア;ラゲージ横
4.ワゴン-2(WAGON-2)	フロント;FULL	リア;リアドア
5.ミニバン-1(MINI VAN-1)	フロント;2WAY	リア;ラゲージ横
6.ミニバン-2(MINI VAN-2)	フロント;FULL	リア;リアドア相当

車種タイプのフロントとリアは、スピーカーの取付位置を表しています。

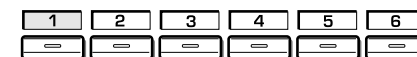
ボタン (車種タイプ)	パラメトリックイコライザーパラメーター			
	チャンネル	バンド1	バンド2	バンド3
1 (SEDAN-1)	フロント	F=250Hz, Q=3, G=-8dB	F=2kHz, Q=1, G=-4dB	F=5kHz, Q=1, G=-4dB
	リア	F=250Hz, Q=3, G=-10dB	F=1.25kHz, Q=5, G=0dB	F=8kHz, Q=5, G=0dB
2 (SEDAN-2)	フロント	F=250Hz, Q=7, G=-10dB	F=800Hz, Q=3, G=-4dB	F=8kHz, Q=1, G=-5dB
	リア	F=80Hz, Q=7, G=+3dB	F=125Hz, Q=5, G=-12dB	F=1.25kHz, Q=5, G=0dB
3 (WAGON-1)	フロント	F=250Hz, Q=3, G=-8dB	F=1kHz, Q=3, G=-8dB	F=10kHz, Q=1, G=-6dB
	リア	F=250Hz, Q=3, G=-8dB	F=800Hz, Q=1, G=-8dB	F=8kHz, Q=5, G=0dB
4 (WAGON-2)	フロント	F=250Hz, Q=7, G=-8dB	F=400Hz, Q=7, G=-10dB	F=1.25kHz, Q=7, G=-8dB
	リア	F=125Hz, Q=3, G=-8dB	F=500Hz, Q=5, G=-5dB	F=1.6kHz, Q=3, G=0dB
5 (MINI VAN-1)	フロント	F=125Hz, Q=5, G=-4dB	F=1.25kHz, Q=3, G=-4dB	F=2kHz, Q=7, G=+3dB
	リア	F=250Hz, Q=1, G=-6dB	F=630Hz, Q=3, G=-4dB	F=8kHz, Q=5, G=0dB
6 (MINI VAN-2)	フロント	F=250Hz, Q=3, G=-4dB	F=1.25kHz, Q=3, G=-8dB	F=80Hz, Q=3, G=+3dB
	リア	F=250Hz, Q=3, G=-8dB	F=500Hz, Q=5, G=-5dB	F=8kHz, Q=5, G=0dB

F; 中心周波数、Q; Qカーブ、G; ゲイン(出力レベル)

#### ご注意

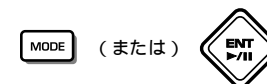
プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。また、スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。

**3** ダイレクトボタンを押して、P.EQメニューを選ぶ

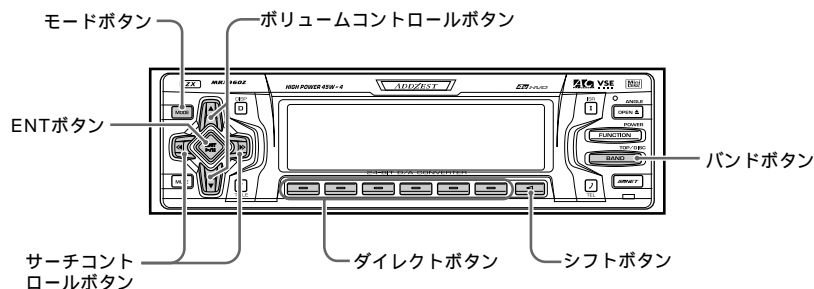


- ユーザーメモリーを選ぶときは、バンドボタンを押して、「User」を選ぶ

**4** モードボタンを3回押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



## ■ P.EQの操作(プロモード))



### P.EQ効果をON/OFFする

ディスプレイのシフトボタン機能表示が「ON」のときは、P.EQ効果が「ON」に設定されています。

- 初期設定は「ON」です。
- P.EQ効果をOFFに設定すると、「P.EQの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

#### 1 モードボタンを2回押して、「P.EQ MODE」を選ぶ

MODE

#### 2 シフトボタンを押して、「ON」または「OFF」を切り換える

ON

ディスプレイのシフトボタン機能表示(ON)がOFFまたはONに切り換わります。

#### 3 モードボタンを3回押す。またはENTボタンを押して(約1秒間)元のモードに戻る

MODE (または) ENT

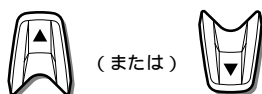
### P.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

#### 1 .EQメニューを選ぶ手順(1~3)で、調整のベースにするP.EQメニューを選ぶ

#### 2 ENTボタンを押す



#### 3 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、調整項目を選ぶ

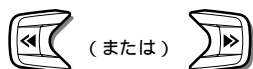


調整項目

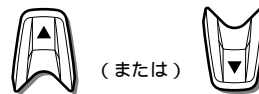
FRONT/REAR	チャンネル(フロント/リア)
BAND	バンド(1~3)
FREQUENCY	周波数(20Hz~20kHz)
GAIN	ゲイン(-12dB~+12dB)
Q	Qカーブ(1/3/5/7/20)

詳しくは、次ページの「P.EQの調整について」をご覧ください。

#### 4 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、カーソルを右側に移動する



#### 5 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、調整する

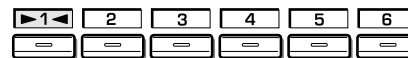


- ディスプレイボタンを押すと、調整中のP.EQカーブが表示されます。もう1度ディスプレイボタンを押すと、元の調整モードに戻ります。

#### 6 手順3~4を繰り返して調整し終わったら、ENTボタンを押す



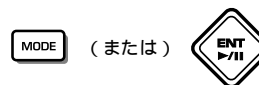
#### 7 調整内容をメモリーするときは、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



ユーザーメニューにメモリーされます。

- ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「VSE/EQメニューにタイトルをつける」(54ページ)をご覧ください。

#### 8 モードボタンを3回押す。またはENTボタンを押して(約1秒間)元のモードに戻る



### P.EQの調整について

ベーシックP.EQメニューを基に、ご自分の車に合わせて周波数特性を補正することができます。また、補正した周波数特性を6種類メモリーできます。

P.EQメニューの調整内容は、以下の通りです。

- チャンネルの選択(FRONT/REAR)  
補正したいチャンネル(フロントまたはリア)を選びます。
- 中心周波数の選択(FREQUENCY)  
補正したい中心となる周波数を20Hz~20kHz範囲から選びます。  
(1/3オクターブステップ、31ポイント)

- Qカーブの選択(Q)  
Qカーブの鋭さを1、3、5、7、20のいずれかに設定します。
- ゲインの調整(GAIN)  
ゲイン(出力レベル)を-12dB~+12dBの範囲で調整します。  
(1dBステップ、25ポイント)

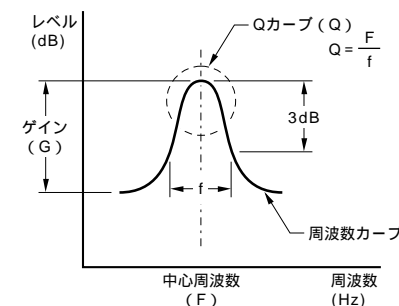
### 補正について

周波数特性を測定器で測ったときに、周波数特性が平坦(周波数特性に山や谷が無い状態)であれば、補正の必要はありませんが、周波数特性が部分的に持ち上がっていたり、下がっていることがあります。このようなときに、部分的に持ち上がったり下がっている部分の中心周波数に合わせて、逆の特性の周波数カーブをつくります。こうすることで周波数特性が補正され、平坦な周波数特性をつくりだすことができます。

このように、周波数特性をできるだけ平坦にすることが補正です。

### ・周波数特性の補正について

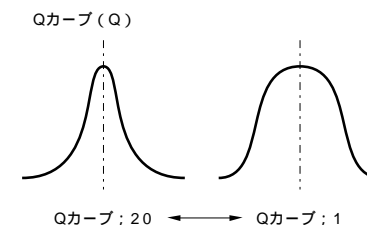
中心周波数、Qカーブ(Q)、ゲインの関係は、下図をご覧ください。



### ・Qカーブ(Q)について

Qカーブ(Q)は、数値を大きく設定すると鋭く、数値を小さく設定すると緩やかなカーブになります。

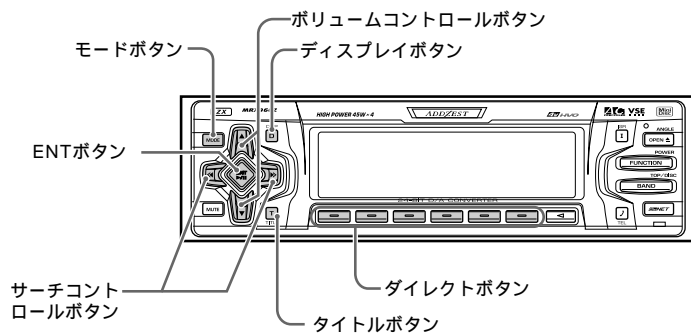
補正したい周波数カーブと逆のQカーブ(Q)を選ぶことで、平坦な周波数特性をつくりだすことができます。







## ■ タイトルをつける



### イージーインプットをする

イージーインプットについて...  
本機は、チューナー(TV)エリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリセットチャンネルにメモリーされているタイトルを「USER TITLE」にコピーすることができます。(イージーインプット機能)

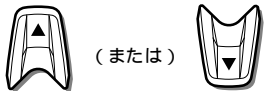
#### ご注意

イージーインプットをすると、すでにメモリーされているチューナー(TV)タイトルは全て消去されます。

- 1 モードボタンを4回押してアジャストモードを選択する

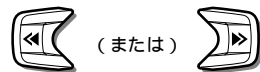


- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「TUNER AREA」を選ぶ

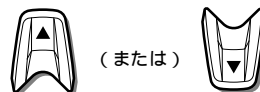


•TVモードのときは、「TV AREA」を選んでください。

- 3 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、受信エリア一覧表示にする



- 4 サーチコントロールボタンの▲または▼を押して、コピーしたい受信エリアを選ぶ



- 5 ENTボタンを押し続ける(約2秒間)



•受信エリアについては、「チューナーエリアを設定する(TUNER AREA) (64ページ)」TVエリアを設定する(TV AREA) (66ページ)をご覧ください。

### タイトルを削除する

- 1 ファンクションボタンを押して、モードを選ぶ(ラジオ、TV、CDまたはCDチェンジャー)



- 2 削除したいタイトルのラジオ/TV局を受信するまたはCDを演奏する

- 3 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



タイトル入力表示になります。

- 4 ダイレクトボタン(CLR)を押す



タイトルが消えます。

- 5 ENTボタンを押し続ける(約2秒間)



### タイトルリストから演奏する(タイトルリスト演奏)

タイトルリスト演奏について...

ラジオ、テレビ、CDチェンジャーまたはMDチェンジャーモード時にメモリーされているタイトルをリスト表示させ、演奏するディスクまたは放送局を選択することができます。

- 1 ファンクションボタンを押して、モードを選ぶ



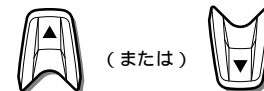
- 2 ラジオ、テレビ、CDチェンジャー、MDチェンジャーモード時に、タイトルボタンを押す



タイトルリストモードになります。

•ラジオまたはテレビモード時にバンドボタンを押すと、タイトルリストのバンドが切り換わります。

- 3 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、演奏させるディスク、または放送局のタイトルを選ぶ



- 4 ENTボタンを押す

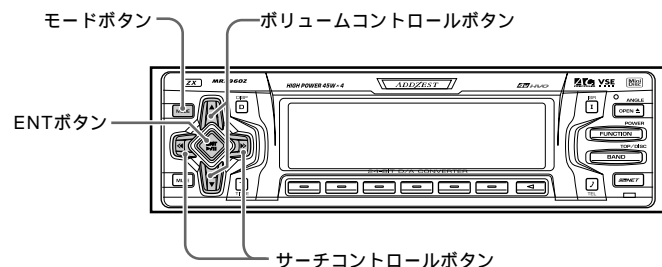


選択されたタイトルのディスクまたは放送局を演奏します。

- 5 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



# 設定を変更する(アジャストモード)



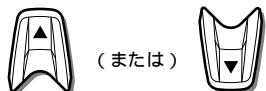
## 設定項目を選ぶ

- 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選択する

MODE

「Adjust」を表示して、アジャストモードになります。

- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、設定する項目を選ぶ

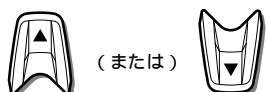


• ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押すたびに、右図のように切り換わります。(接続していない機器の調整項目は表示されません。)

- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、カーソルを右側に移動する



- 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、設定する



元のモードに戻すには...  
モードボタンを押してください。

Adjust ANA SENS — MID  
BEEP — ON  
BG SPE/ANA — ON  
BG COLOR — BLCK

Adjust A-SCROLL — ON  
ILLUMI — GREN  
EXTRA OUT — ON  
AC-PROCSSR — STD

Adjust FM DIVER — ON  
TUNER AREA —  
TV DIVER — OFF  
TV AREA —

Adjust DIMMER LV. — 5  
CONTRAST — 8  
CLOCK —  
TEL-SP — LEFT

Adjust CONTRAST — 8  
CLOCK —  
TEL-SP — LEFT  
MESSAGE — ON



Adjust CONTRAST — 8  
CLOCK —  
TEL-SP — LEFT  
MESSAGE — ON

カーソル

## スペクトラムアナライザーの感度を設定する(ANA SENS)

### スペクトラムアナライザー感度 (SENSITIVITY) について...

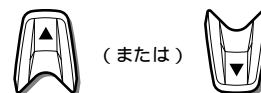
スペアナ感度は、パターン表示の感度です。本機は、5種類(LOW,L-M,MID,M-H,HIGH)の感度に切り換えることができます。

- 初期設定は、「MID」です。
- スペアナ感度を切り換えることによって、音量が変わることはありません。

- 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選択する

MODE

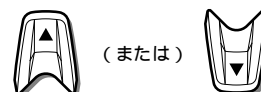
- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「ANA SENS」を選ぶ



- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、カーソルを右側に移動する

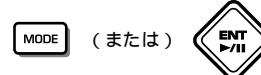


- 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、感度を選ぶ



スペアナ感度は次のように切り換わります。  
LOW → L-M → MID → M-H → HIGH

- 5 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



## ボタン操作時のビープ音を設定する(BEEP)

### ビープ音について...

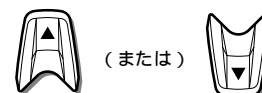
操作時になる「ピッ」という音をビープ音といいます。本機は、この音が鳴らないように設定できます。

- 初期設定は、「ON」です。
- 「OFF」に設定しても、スローコンソールが自動的に閉まるときは、事故防止のためビープ音が鳴ります。

- 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選択する

MODE

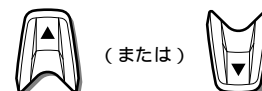
- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「BEEP」を選ぶ



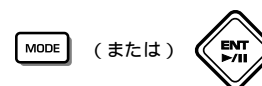
- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、カーソルを右側に移動する



- 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 5 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



## ■ 設定を変更する (アジャストモード)

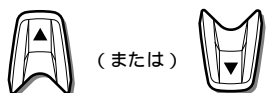
### 背景スペアナ表示を設定する (BG SPE/ANA)

背景スペアナ表示について...  
スペアナ、I-BGV表示以外のときに、ディスプレイの右側にスペアナを表示します。  
• 初期設定は「ON」です。

**1** モードボタンを4回押して、アジャストモード選ぶ



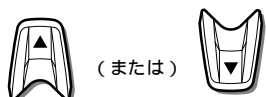
**2** ボリュームコントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「BG SPE/ANA」を選ぶ



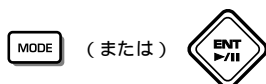
**3** サーチコントロールボタンの ► を押して、カーソルを右側に移動する



**4** ボリュームコントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



**5** モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



### ディスプレイ背景色(パターン)を設定する(BG COLOR)

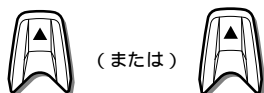
ディスプレイ背景色(パターン)について...

I-BGV表示以外のときのディスプレイ背景色を、お好みのパターンに設定できます。  
• 初期設定は「BLCK」(ブラック)です。  
ディスプレイ表示を見ながら、パターンをお選びください。

**1** モードボタンを4回押して、アジャストモード選ぶ



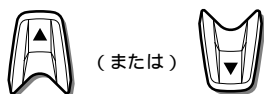
**2** ボリュームコントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「BG COLOR」を選ぶ



**3** サーチコントロールボタンの ► を押して、カーソルを右側に移動する

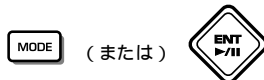


**4** ボリュームコントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、背景パターンを選ぶ



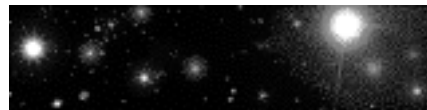
• 背景パターンについては、次ページをご覧ください。

**5** モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る

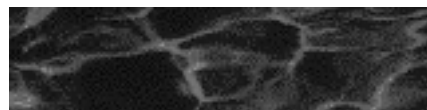


### 背景色パターンについて...

1. BLCK(ブラック)



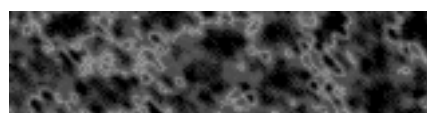
2. BLUE(ブルー)



3. RED(レッド)



4. GREN(グリーン)



5. NEON(ネオン)



6. CHCK(チェック)



7. COIN(コイン)



8. ELEC(エレクト)



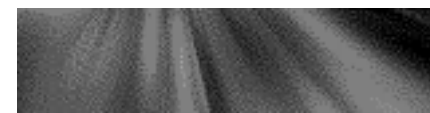
9. UFO(ユーフオー)



10. PINK(ピンク)



11. SAND(サンド)



12. WIND(ウィンド)



13. FIRE(ファイヤー)



## ■ 設定を変更する (アジャストモード)

### タイトルスクロール方法を設定する (A-SCROLL)

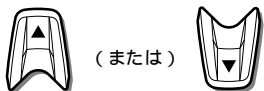
タイトルスクロールについて...  
タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。

• 初期設定は、「ON」です。

- 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選択する

MODE

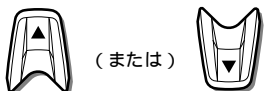
- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「A-SCROLL」を選ぶ



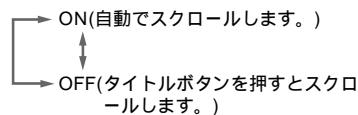
- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して調整する



- 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



押すたびに、次のように表示が切り換わります。



- 5 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る

MODE

(または)



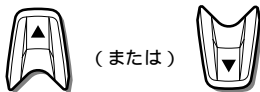
### ボタンイルミネーションを設定する (ILLUMI)

• 初期設定は、「GREEN」(グリーン)です。

- 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選ぶ

MODE

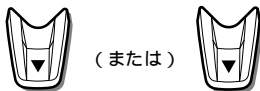
- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「ILLUMI」を選ぶ



- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、カーソルを右側に移動する



- 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「AMBR」(アンバー)または「GREN」(グリーン)を選ぶ



- 5 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る

MODE

(または)



### エクストラアウト出力を設定する (EXTRA OUT)

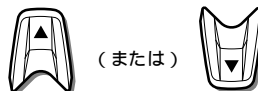
エクストラアウト出力について...  
RCAピンケーブルエクストラアウト出力の設定をON/OFFすることができます。

• 初期設定は、「ON」です。

- 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選択する

MODE

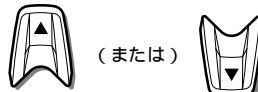
- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「EXTRA OUT」を選ぶ



- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、カーソルを右側に移動する



- 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 5 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る

MODE

(または)



### エクストラアウト出力の音量を調整する (EXTRA VOL)

エクストラアウト出力の調整について...

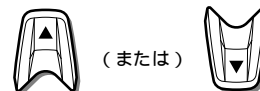
エクストラアウト出力の設定を「ON」にしないと、エクストラアウト出力音量は調整できません。

• 初期設定は、「0」です。

- 1 モードボタンを3回押して、オーディオモードを選択する

MODE

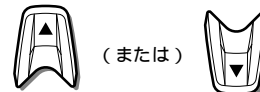
- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「EXTRA VOL」を選ぶ



- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、カーソルを右側に移動する



- 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、出力音量を調整する



• エクストラアウト出力の音量調整範囲は、-5 ~ +5 です。

- 5 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る

MODE

(または)



## ■ 設定を変更する (アジャストモード)

### チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)

チューナーエリアについて...

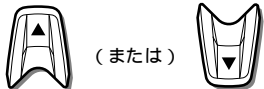
チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

- 初期設定は、「コウイキ カントウ (広域 関東)」です。
- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE (タイトル入力された放送局名)」にしてください。また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける」(55ページ)をご覧ください。

- 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選択する



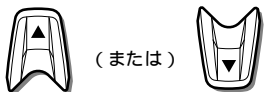
- 2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「TUNER AREA」を選ぶ



- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、カーソルを右側に移動する



- 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、チューナーエリアを選ぶ



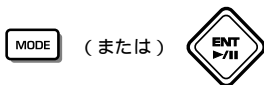
エリアは右図の11種類から選ぶことができます。

- 5 ENTボタンを押す



チューナーエリアを決定します。

- 6 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



イーजीインプット機能について...

チューナーエリアを選択してから、ENTボタンを押し続ける(2秒間)と、選択したチューナーエリアの放送局名のうち、プリセットチャンネルにメモリーされているタイトルが「USER TITLE」メモリーへ登録されます。詳しくは、「イーजीインプットをする」(56ページ)をご覧ください。

チューナーエリア一覧表

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホク	東北
コウイキ カントウ	広域 関東
コウイキ トウカイ	広域 東海
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
チュウゴク	中国
シコク	四国
キュウシュウ	九州
オキナワ	沖縄

### FMダイバーシティーを設定する(FM DIVER)

FMダイバーシティーについて...

FM放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。

- 初期設定は「ON」です。車側のアンテナが1本のときには「OFF」に設定してください。

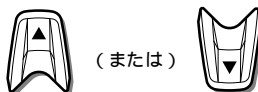
#### ご注意

設定を間違えるとノイズが発生する原因となります。

- 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選択する



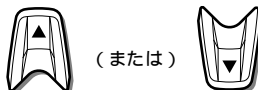
- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「FM DIVER」を選ぶ



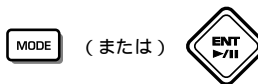
- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、カーソルを右側に移動する



- 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 5 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



### TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)

TVダイバーシティーについて...

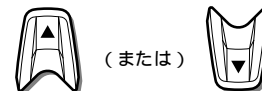
TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)

- 初期設定は「ON」です。TVダイバーシティーアンテナを使用していないときは「OFF」に設定し直してください。

- 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選択する



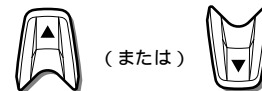
- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「TV DIVER」を選ぶ



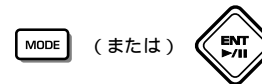
- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、カーソルを右側に移動する



- 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 5 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて(約1秒間)元のモードに戻る



## ■ 設定を変更する (アジャストモード)

### TVエリアを設定する (TV AREA)

テレビエリアについて...

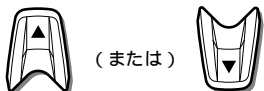
テレビエリア (テレビを受信する地域) を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。 (TVチューナー接続時)

- 初期設定は、「カントウ」 (関東) です。

- 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選択する



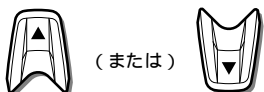
- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「TV AREA」を選ぶ



- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、カーソルを右側に移動する



- 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を回して、TVエリアを選ぶ



エリアは右図の22種類から選ぶことができます。

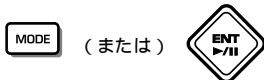
- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE」にしてください。
- また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける」 (55ページ) をご覧ください。

- 5 ENTボタンを押す



TVエリアを決定します。

- 6 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて (約1秒間) 元のモードに戻る



イーजीインプット機能について...

テレビエリアを選択してから、ENTボタンを押し続ける (約2秒間) と、選択したテレビエリアの放送局名のうち、プリセットチャンネルにメモリーにされているタイトルが「USER TITLE」メモリーへ登録されます。

詳しくは、「イーजीインプットをする」 (56ページ) をご覧ください。

TVエリア一覧表

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホクA	東北A
センダイ	仙台
トウホクB	東北B
フクシマ	福島
シンエツ	信越
カントウ	関東
シズオカ	静岡
トウカイチュウブ	東海中部
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
サンイン	山陰
オカヤマ	岡山
サンヨウ	山陽
シコクA	四国A
シコクB	四国B
キュウシュウA	九州A
キュウシュウB	九州B
キュウシュウC	九州C
カゴシマ	鹿児島
オキナワ	沖縄

### ディマーレベルを調整する (DIMMER LV.)

ディマー機能について...

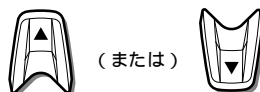
夜間などで車内が暗いときに、ディスプレイの眩しさを防ぐため、車のイルミネーション電源に連動してディスプレイ照明を減光することができます。

- 初期設定は「5」です。

- 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選ぶ



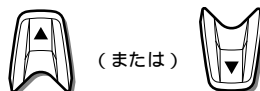
- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「DIMMER LV.」を選ぶ



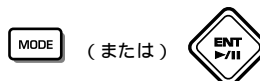
- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、カーソルを右側に移動する



- 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「OFF」、「1」~「5」を選ぶ



- 5 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて (約1秒間) 元のモードに戻る



### コントラストを調整する (CONTRAST)

コントラスト調整について...

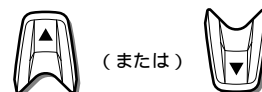
ディスプレイ部のコントラスト (色合い) を、本機の取付角度に合わせて調整することができます。

- 初期設定は「8」です。
- ディスプレイ表示を見ながら、調整値をお選びください。

- 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選ぶ



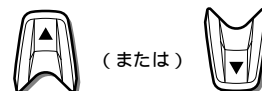
- 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「CONTRAST」を選ぶ



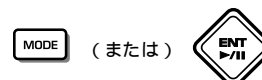
- 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、カーソルを右側に移動する



- 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「1」~「15」を選ぶ



- 5 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて (約1秒間) 元のモードに戻る





## ■ 設定を変更する（アジャストモード）

### 電話の割り込みを設定する （TEL-SP）

#### 電話の割り込み機能について...

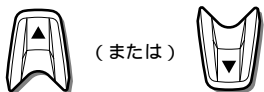
本機と別販のオーディオコントロール付TEL-LINKユニット（JCH540Z）を接続することにより、電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声を聞くことができます。さらに、本機では通話音声を出すスピーカーを左または右に切り換えることができます。

- 初期設定は「LEFT」です。

#### 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選択する



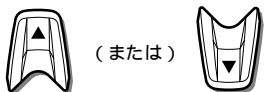
#### 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「TEL-SP」を選ぶ



#### 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、カーソルを右側に移動する



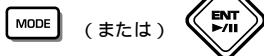
#### 4 ボリュームコントロールボタンの▲方向または▼方向に回して、「LEFT」または「RIGHT」を選ぶ



#### ご注意

ハウリングを防止するため、右ハンドル車の時は左スピーカー（LEFT）に、左ハンドル車の時には右スピーカー（RIGHT）に設定してください。

#### 5 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて（約1秒間）元のモードに戻る



### メッセージを表示させる （MESSAGE）

#### メッセージ表示機能について...

電源ON/OFF時に、ディスプレイにメッセージを表示します。

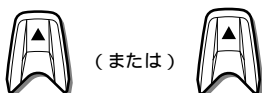
本機では、お好みに合わせてこれらのメッセージの表示をON/OFFすることができます。

- 初期設定は、「ON」です。
- 設定をONにすると、電源を入れたときに「WELCOME」、電源を切ったときに「GOOD-BYE!」を表示します。

#### 1 モードボタンを4回押して、アジャストモードを選択する



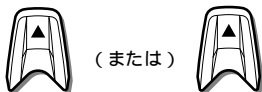
#### 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「MESSAGE」を選ぶ



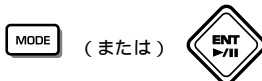
#### 3 サーチコントロールボタンの▶を押して、カーソルを右側に移動する



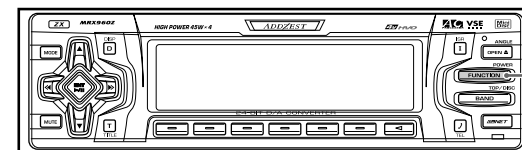
#### 4 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



#### 5 モードボタンを押す。またはENTボタンを押し続けて（約1秒間）元のモードに戻る



# CD/MDチェンジャーの操作



ファンクション  
ボタン

## CDチェンジャーについて...

本機は、別販のCeNET結線対応のCDチェンジャーを接続してコントロールできます。CeNET結線対応のCDチェンジャーとMDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

## MDチェンジャーについて...

本機は、別販のCeNET接続対応のMDチェンジャーを接続してコントロールできます。

## CD-ROMについて...

本機ではCD-ROMを操作できません。

### ご注意

- CD-Rで記録されたCDは使用できない場合があります。また、CD-RWで記録されたCDは使用できません。

## チェンジャーモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、CD(またはMD)チェンジャーモードを選ぶ

### FUNCTION

CD(またはMD)チェンジャーモードになると、自動的に演奏がはじまります。

- ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

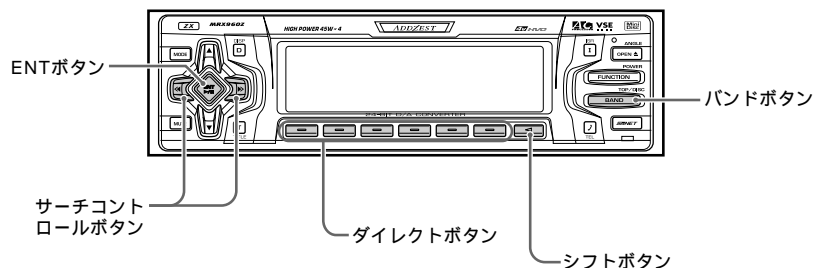
ラジオ → (CDデッキ) → MD → (CDチェンジャー) →  
(ACCS) ← (TV) ← (MDチェンジャー) ←

## 2台のCD(またはMD)チェンジャーを接続したときは...

ファンクションボタンを押して、演奏するCD(またはMD)チェンジャーを選択してください。(ファンクションボタンを押すたびに切り換わります。)

- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「NO MAG」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「NO DISC」と表示されます。
- MDチェンジャーにMDが入っていないときは、「NO DISC」と表示されます。
- タイトル表示については「タイトル表示を切り換える(33ページ)」をご覧ください。

## CD/MDチェンジャーの操作



### 聴きたいCD(またはMD)を選ぶ

ダイレクトボタン(1~6)を押す



または、バンドボタンを押す



演奏をはじめます。

- MDが入っていないとき、またはマガジンにCDが入っていないときは、ダイレクトボタンを押しても受け付けません。
- 演奏中のCD(またはMD)をダイレクトボタンで選んだときは、そのCD(またはMD)の1曲目に戻って演奏します。

12枚CDチェンジャー接続時に、7~12のディスクを選ぶには...

シフトボタンを押して、ダイレクトボタンを(7~12)の表示値に切り換えてください。

### 曲を選ぶ

次の曲を聴くときは、サーチコントロールボタンの▶を押す



▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

前の曲を聴くときは、サーチコントロールボタンの◀を2回押す



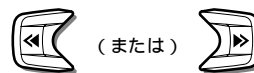
◀を1回押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチコントロールボタンの◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

### 早送り/早戻しする

早送りするときは、サーチコントロールボタンの▶▶を押し続ける

早戻しするときは、サーチコントロールボタンの◀◀を押し続ける



### 演奏を止める(一時停止)

ENTボタンを押す



タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

続けて演奏を聴きたいときには...

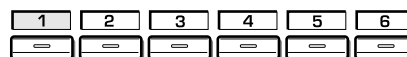
もう1度ENTボタンを押してください。

### 最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について...

ディスクの最初の曲(トラックNo.1)から演奏させる機能です。

演奏しているCD(またはMD)と同じ番号のダイレクトボタン(1~6または7~12)を押す



- MDまたはマガジンにCDが入っていないディスクNo.のダイレクトボタンを押しても受け付けません。

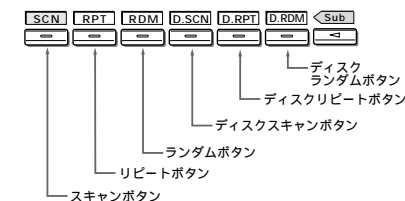
### 聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...  
チェンジャー内のCD(またはMD)の全曲を約10秒間ずつ演奏します。

#### 1 シフトボタンを押す



ダイレクトボタンの機能が切り換わります。



#### 2 スキャンボタンを押す



ディスプレイに「SCN」を表示し、タイトル表示部に「T-SCAN」を約1秒間表示して、スキャン演奏をします。

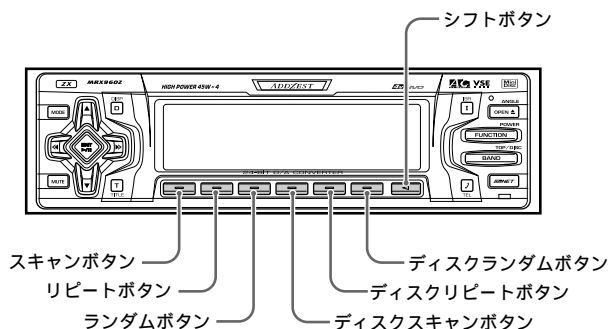
- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

スキャン演奏を解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。

ディスプレイの「SCN」が消え、いま演奏している曲から演奏します。

## ■ CD/MDチェンジャーの操作



### 聴きたいCD(またはMD)を探す (ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について...  
チェンジャー内の全CD(またはMD)の最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

#### 1 シフトボタンを押す



ダイレクトボタンの機能が切り換わります。

#### 2 ディスクスキャンボタンを押す



ディスプレイに「D.SCN」を表示し、タイトル表示部に「D-01 SCAN」を約1秒間表示して、ディスクスキャン演奏をします。

- ディスクスキャン演奏は、演奏しているCD(またはMD)の次のCD(またはMD)からはじまります。

ディスクスキャン演奏を解除するには...

もう1度ディスクスキャンボタンを押してください。

ディスプレイの「D.SCN」が消え、いま演奏しているCD(またはMD)から演奏します。

### 1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について...  
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

#### 1 シフトボタンを押す



ダイレクトボタンの機能が切り換わります。

#### 2 リピートボタンを押す



ディスプレイに「RPT」を表示し、タイトル表示部に「T-REPEAT」を約1秒間表示して、リピート演奏をします。

リピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。

ディスプレイの「RPT」が消え、通常の演奏になります。

### 1枚のCD(またはMD)を繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について...  
演奏中のCD(またはMD)を繰り返し演奏します。

#### 1 シフトボタンを押す



ダイレクトボタンの機能が切り換わります。

#### 2 ディスクリピートボタンを押す



ディスプレイに「D.RPT」を表示し、タイトル表示部に「D-REPEAT」を約1秒間表示して、ディスクリピート演奏をします。

ディスクリピート演奏を解除するには...

もう1度ディスクリピートボタンを押してください。

ディスプレイに「D.RPT」を消え、通常の演奏になります。

### ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について...  
演奏中のCD(またはMD)の全曲を順不同に演奏します。

#### 1 シフトボタンを押す



ダイレクトボタンの機能が切り換わります。

#### 2 ランダムボタンを押す



ディスプレイに「RDM」を表示し、タイトル表示部に「T-RANDOM」を約1秒間表示して、ランダム演奏をします。

ランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

### 全CD(またはMD)の演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)

ディスクランダム演奏について...  
チェンジャー内のCD(またはMD)の曲を順不同に演奏します。

#### 1 シフトボタンを押す



ダイレクトボタンの機能が切り換わります。

#### 2 ディスクランダムボタンを押す

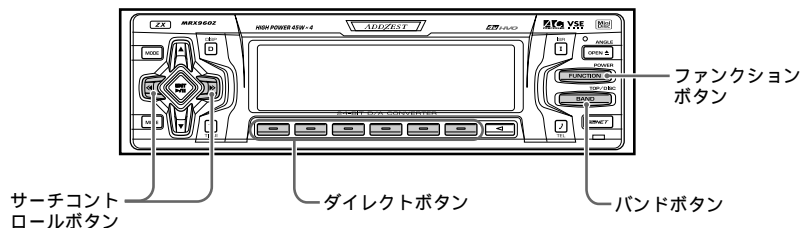


ディスプレイに「D.RDM」を表示し、タイトル表示部に「D-RANDOM」を約1秒間表示して、ディスクランダム演奏をします。

ディスクランダム演奏を解除するには...

もう1度ディスクランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「D.RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。



## TVモードを選ぶ

TVチューナーコントロール機能について...

別販のCeNET結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。

TVを見るためには、TVチューナーとモニターが必要です。



**警告**

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

### ご注意

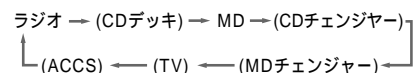
ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

- TVダイバーシティアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティを設定する(TV DIVER)」(65ページ)で、設定を「OFF」にしてください。
- 受信地域内の放送局名を表示させたいときは、「TVエリアを設定する(TV AREA)」(66ページ)で、受信エリアを設定してください。

ファンクションボタンを押して、TVモードを選ぶ



ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

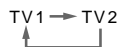


## 受信バンドを切り換える

バンドボタンを押してTV1またはTV2を選ぶ



バンドボタンを押すたびに、バンドが切り換わります。



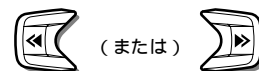
## 自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押す



放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

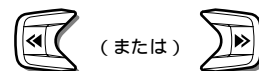
## 手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、放送のあるところに合わせる

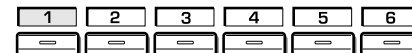


## プリセット選局する

プリセット選局について

あらかじめメモリーしてあるチャンネルを選局する機能です。

ダイレクトボタン(1~6)を押して、見たいTV局を選ぶ



ディスプレイのモード表示部にプリセットNo.を表示します。

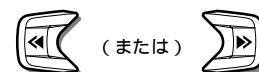
・メモリーするときは、「プリセットメモリーする」(次項)をご覧ください。

## プリセットメモリーする

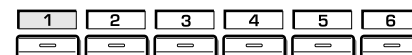
プリセットメモリーについて...

プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2各6局、合計で12局です。

1 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

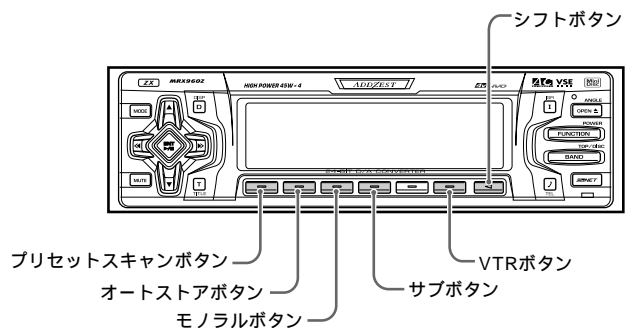


2 メモリーさせたいダイレクトボタン(1~6)を押し続ける(約2秒間)



メモリーされると、ディスプレイのモード表示部にプリセットNo.を表示し、「ピー」と鳴ります。

## ■ テレビを見る



### 自動メモリーする(オートストア機能)

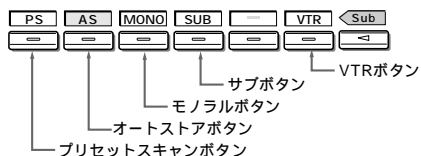
#### オートストア機能について...

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

#### 1 シフトボタンを押し、ダイレクトボタンの機能を切り換える



ダイレクトボタン機能表示が「Sub」になります。機能表示はシフトボタンを押すたびに切り換わります。



#### 2 オートストアボタンを押し続ける(約2秒間)



タイトル表示部に「STORE 1/6」表示し、モード表示部に自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がダイレクトボタン(1~6)にメモリーされていきます。

#### ご注意

- 自動メモリーをすると、これまでメモリーされていた放送局は消去されます。
- メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、メモリーされなかったダイレクトボタンにはそれまでのメモリー内容が残ります。
- すでにメモリーされている放送局を、別のダイレクトボタンにメモリーすることはありません。

### 放送を確かめる(プリセットスキャン)

#### プリセットスキャンについて...

プリセットスキャンは、プリセットボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

#### 1 シフトボタンを押し、ダイレクトボタンの機能を切り換える



#### 2 プリセットスキャンボタンを押す



タイトル表示部に「P.SCAN ch1 ~」を約1秒間表示し、モード表示部にプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

#### プリセットスキャンを解除するには...

もう1度、プリセットスキャンボタンを押してください。

ボタンを押していたときに受信していた放送局を受信します。

### ステレオ/モノラル音声を切り換える

#### モノラルボタンを押す



押すたびに、ステレオ音声とモノラル音声を切り換えます。

### メイン/サブ音声を切り換える

#### サブボタンを押す



押すたびに、メイン音声とサブ音声を切り換えます。

### ビデオを見る

この機能は、TVチューナーにビデオ機器が接続されているときに操作できます。

#### TVモード時にVTRボタンを押す



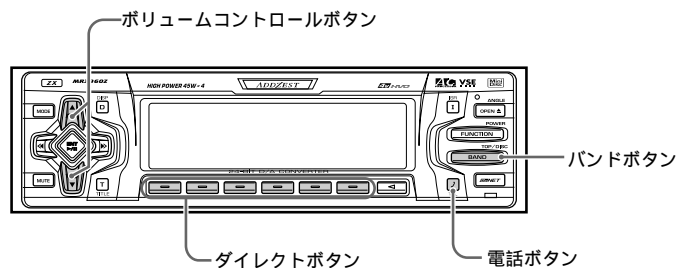
TVモードからVTRモードに切り換わります。TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを見ることができます。

#### TVモードに戻すには...

TVボタンを押してください。



# 携帯電話機を操作する



## 電話をかける(スーパースピードダイヤル)

本機は、別販のオーディオコントロール付 TEL-LINK ユニット(JCH540Z)を接続することにより、携帯電話機による通話をコントロールすることができます。

TEL-LINKユニットに接続可能な、デジタル携帯電話については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または弊社お客様相談室にお問い合わせください。



警告

運転中の電話は大変危険です。電話をかけるとき、または受けるときには車を安全な場所に停車させてから操作してください。

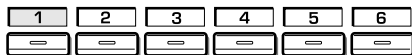
### 1 電話ボタンを押す



TEL

電話モードに切り換わります。

### 2 ダイレクトボタン(1～6)を押す



携帯電話機のメモリーダイヤルを呼び出して、登録内容を音声で案内します。また、呼び出したメモリーダイヤルをディスプレイに表示して、自動で発信します。

- ファンクションボタンを押すと、即座にダイヤル発信します。
- 通話時は、ディスプレイのモード表示部に「TEL」を表示します。
- 本機にメモリーされたメモリーダイヤル番号は変更できません。変更するときは、携帯電話側で変更してください。

### 3 電話ボタンを押して、元のモードに戻る



TEL

通話を終了するには...

バンドボタンを押してください。

## 着信電話を保留する

バンドボタンを押す



保留を解除するには...

ファンクションボタンを押してください。

## 通話音量を調整する

### 1 電話ボタンを押して、電話モードにする



TEL

### 2 ボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、通話音量を調整する



(または)



- 通話時にボリュームコントロールボタンの▲または▼を押して、調整することもできます。
- 調整した通話音量はメモリーされます。
- 電話モード時の通話音量は、オーディオ時の音量設定と異なります。

### ご注意

通話音量を出すスピーカーは、助手席側のスピーカーを指定してください。  
設定を間違えるとハンズフリー通話のときにハウリングを起こします。  
スピーカーの設定のしかたは、「電話の割込を設定する」(68ページ)をご覧ください。

## 携帯用オーディオを聴く(アクセサリモード)

アクセサリモードについて...

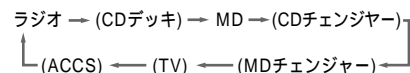
別販の CeNET 結線対応 AUX 入力ユニット (EA-1155A) を接続して、市販のヘッドホンステレオなどの音楽ソースを聴くことができます。

### アクセサリモードにする

ファンクションボタンを押す



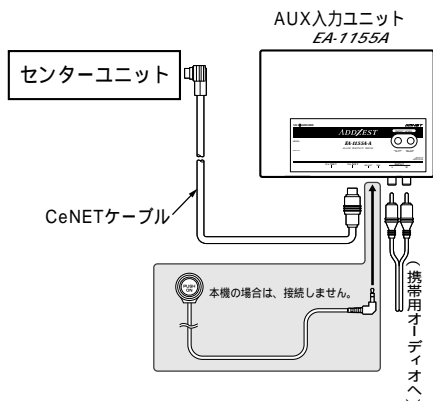
押すたびに、次のように切り換わります。  
アクセサリモードになると、接続された携帯用オーディオのプレイ操作で、音が再生されます。



元のモードに戻すには...  
ファンクションボタンを押してください。

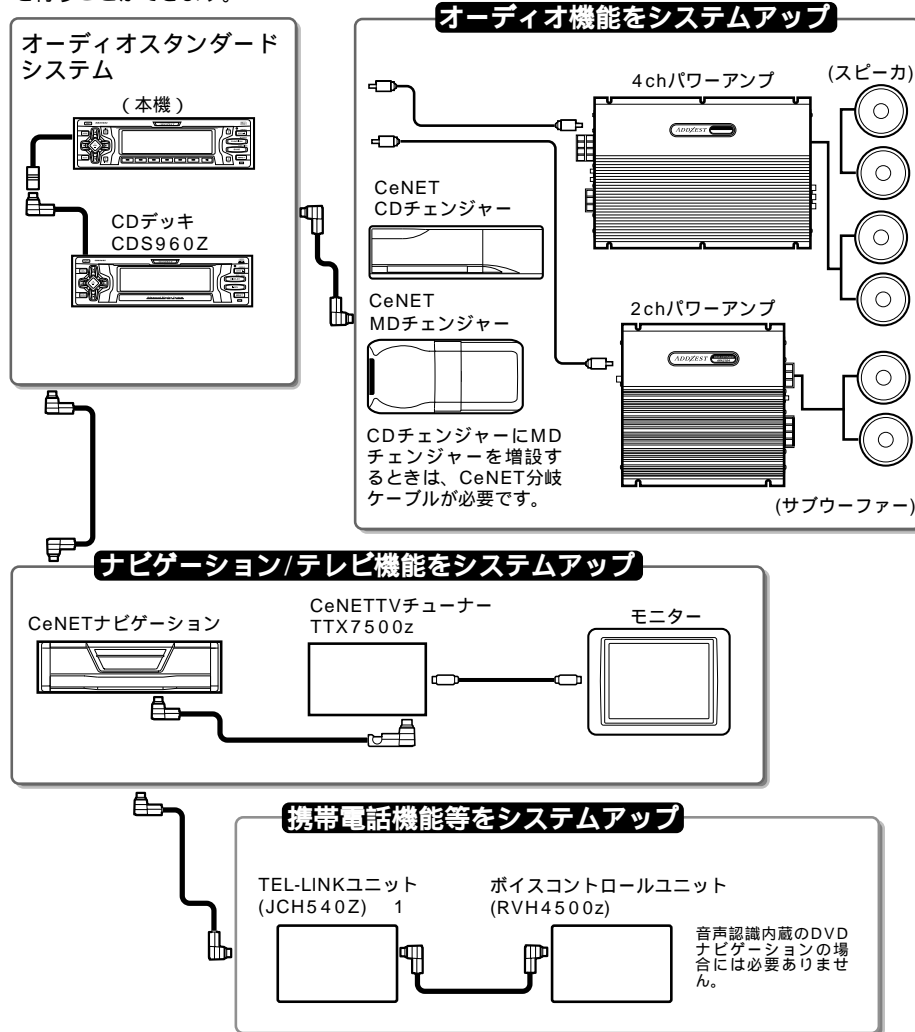
### AUX 入力ユニット接続のしかた

本機の場合には、AUX 入力ユニットに付属のリードスイッチを接続する必要はありません。



## システムアップについて

本機は **CeNET** マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。



1. TEL-LINKユニットに接続可能なデジタル携帯電話機については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または、弊社お客様相談室にお問い合わせください。
2. システムアップおよびそれに必要なCeNETケーブル等については販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。

: CeNETケーブルで結線します。(2)

: RCAピンコードまたは専用の接続コードで結線します。(2)



## CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下（CeNET分岐ケーブルCCA-519含む）です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

CeNET 接続ケーブル長一覧表

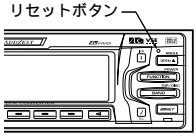
CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET CDチェンジャー	5m <オス オス>
CeNET MDチェンジャー	5m <オス オス>
<b>JCH540Z</b> (オーディオコントロール付TEL-LINKユニット)	2.5m <オス オス>
<b>RVH4500z</b> (ボイスコントロールユニット)	2.5m <オス オス>
CeNET ナビゲーションシステム	5m <オス オス>
CeNET TVチューナー	5m <オス オス>

別販CeNETケーブル	ケーブル長
<b>CCA-519</b> (CeNET分岐ケーブル)	1m <オス×2 メス>
<b>CCA-520</b> (CeNET延長ケーブル)	2.5m <オス メス>
<b>CCA-521</b> (CeNET延長ケーブル)	0.6m <オス メス>

< > 内は、コネクタの形状を表しています。

## 故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

	現 象	原 因	処 置
共 通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押ししてください。  リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
ラ ジ オ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
M D	MDを入れても音が出ない、またはMDがすぐ出してしまう	MDを間違った向きに入れている	MDの印刷面を上、に、シャッター板を右側にして入れてください。
	MDが入らない	本機の中にMDが入っている	イジェクトボタンを押してMDを取り出してから、MDを入れてください。
	MDがイジェクトできない	極端な電源変動などによる誤動作または機構の誤動作	リセットボタンを細い棒などで押してください。
C D	CDがすぐ出してしまう	CDを裏表逆に入れている	CDの印刷面を上にして入れてください。
	音飛びする ノイズが入る	CDが汚れている	CDを柔らかい布でふいてください。
		CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものに交換してください。
そ の 他	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
そ の 他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

# エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
MDモード	ERROR2	MDデッキのメカが故障しているときの表示	MDデッキのメカニズムの故障とされます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	MDデッキ内のMDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDデッキの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDデッキの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください
CDモード	ERROR2	CDデッキ内のCDが引っこかって、イジェクトされないときの表示	CDデッキメカニズムの故障とされます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	CDデッキ内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDデッキ内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているCDと交換してください。
CDチェンジャー	ERROR2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障とされますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDチェンジャー内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	録音されているCDと交換してください。
MDチェンジャー	ERROR2	MDチェンジャーのメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

# 仕様

## MDプレーヤー部

周波数特性	: 20 ~ 20kHz ± 2dB
SN比	: 110dB (EIAJ)
ダイナミックレンジ	: 96dB (EIAJ)
高調波ひずみ率	: 0.009% (1kHz)

## FMチューナー部

受信周波数	: 76.0MHz ~ 90.0MHz
実用感度	: 9dBf (新IHF)
50dBクワイティング感度	: 15dBf (新IHF)
SN比	: 70dB (IHF・A)
周波数特性	: 30Hz ~ 15kHz ± 3dB
分離度	: 35dB (1kHz)
高調波ひずみ率(ステレオ)	: 0.3% (1kHz)

## AMチューナー部

受信周波数	: 522kHz ~ 1,629kHz
実用感度	: 28dB (μV)
SN比	: 50dB

## DSP・EQ部

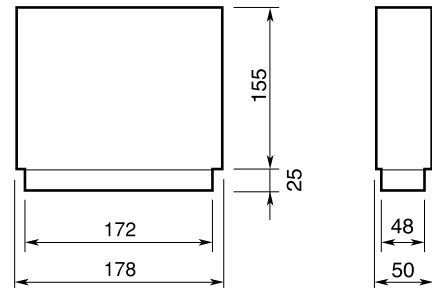
A/D変換	: 20ビットリニア 64倍オーバーサンプリング
D/A変換	: 24ビット128倍オーバー サンプリングアドバンスト マルチビット
DSF	: BASIC 5モード/USER 5モード
G.EQ(7バンド)	: BASIC 6モード/USER 6モード
V.S.E	: BASIC 6モード/USER 6モード
P.EQ	: BASIC 6モード/USER 6モード

## オーディオ部

定格出力	: 17W × 4 (20Hz ~ 20kHz, 1%, 4 )
最大出力	: 45W × 4 (EIAJ)
適合スピーカーインピーダンス	: 4 (4 ~ 8 )
ラインアウト出力レベル (MD 1kHz)	: 4V

## 共通部

電源電圧	: DC 14.4V
接地方式	: マイナス接地
消費電流	: 3.0A (1W時)
ヒューズ定格	: 15A(チョークコイル付メイン電源コード) 15A表示) : 3A(3A表示のあるヒューズケース)
外形寸法	: 178(W) × 50(H) × 180(D)mm [取付寸法: 155(D)mm]
質量	: 1.8kg



## 付属品

- 取扱説明書 ..... 1部
- 取付説明書 ..... 1部
- 修理相談窓口リスト ..... 1部
- 保証書 ..... 1部
- 電源コード ..... 1本
- サラネジ (M5 × 8) ..... 4本
- セムス六角ボルト ..... 5本
- ケーブルクリップ ..... 1個

これらの仕様およびデザインは、改善のため予告なく変更する場合があります。

ドルビーラボラトリー・ライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品

その他

# ■アフターサービスについて

## 保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

## 保証期間

お買い求めの日より1年間です。

## 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。  
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

## 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。